

第4章

地域別構想

1 地域区分の設定

2 地域別構想

2-1 相可地域

2-2 佐奈地域

2-3 津田地域

2-4 外城田地域

2-5 勢和地域

1 地域区分の設定

都市計画マスタープランの地域別構想における地域区分は、以下に示すように5つの小学校区に区分します。

表 地域区分

地域	大字名	
	都市計画区域	都市計画区域外
1. 相可地域	相可（一区、二区）、相可台、荒蒔、兄国、朝長（上朝長、中朝長、下朝長）、弟国（南弟国、北弟国）、河田、多気、東池上、西池上	—
2. 佐奈地域	五佐奈、西山、四神田、油夫、五桂、仁田、平谷、前村（一部）	前村（一部）、神坂、長谷
3. 津田地域	井内林（一部）、佐伯中（一部）、三疋田（一部）、四疋田（一部）	津留、牧、鋤形、井内林（一部）、佐伯中（一部）、三疋田（一部）、四疋田（一部）
4. 外城田地域	野中（野中、成川の一部）、田中、森荘、矢田、笠木、土羽	相鹿瀬、野中（成川の一部）
5. 勢和地域	—	波多瀬、片野、朝柄、古江、色太、土屋、車川、上出江、下出江、丹生

資料：国勢調査

図 地域区分



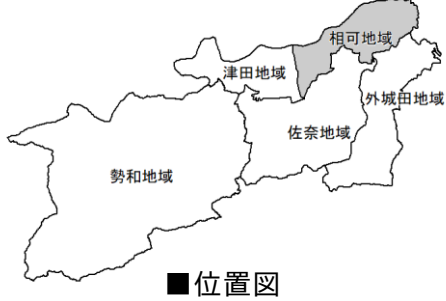
2 地域別構想

2-1 相可地域

(1) 地域概要

表 地域概要

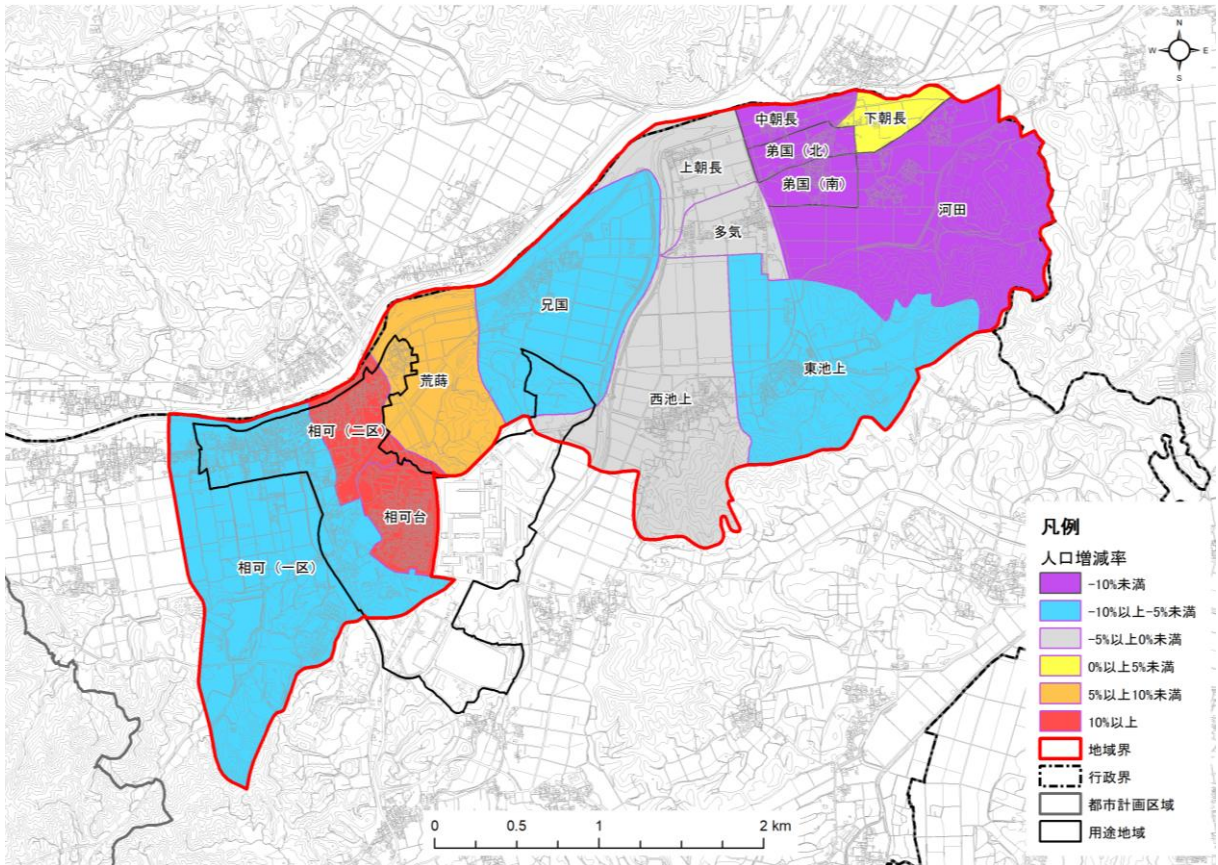
現況特性				
区域区分	面積	R2人口	R2世帯	世帯人員
全域	928ha	4,371人	1,590戸	2.7人/戸
都市計画区域	928ha	4,371人	1,590戸	2.7人/戸
都市計画区域外	—	—	—	—

<ul style="list-style-type: none"> ・相可地域は、町役場などが立地し、多気駅・相可駅が位置する本町の中心地区です。 ・大規模な住宅団地である、多気ニュータウン相可台団地があります。 ・町役場・相可駅周辺は住居・商業・工業の用途地域が定められています。 ・地域内は全域都市計画区域です。 	 <p>■ 位置図</p>
---	--

①人口動向

- ・相可駅、町役場周辺の相可(二区)地区、相可台地区、荒蒔地区が平成 27 (2015) 年～令和 2 (2020) 年の間で 5%以上増加しています。その他の地区は、下朝長地区を除き減少しています。
- ・町全体の人口は減少傾向にあります。地域内の人口は、平成 22 (2010) 年～令和 2 (2020) 年の間で 5%増加しています。
- ・平成 22 (2010) 年～令和 2 (2020) 年の間に高齢化率は約 3%増加しています。

図 人口動向 (平成 27 年～令和 2 年) 相可地域



資料：国勢調査

図 年齢 3 区分別人口推移 相可地域

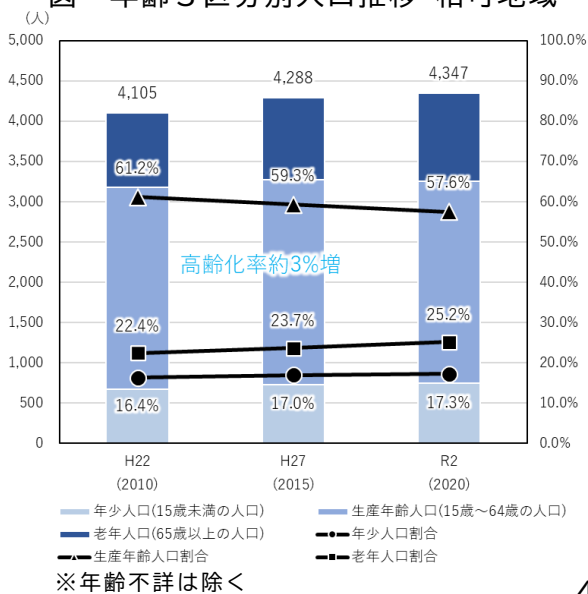
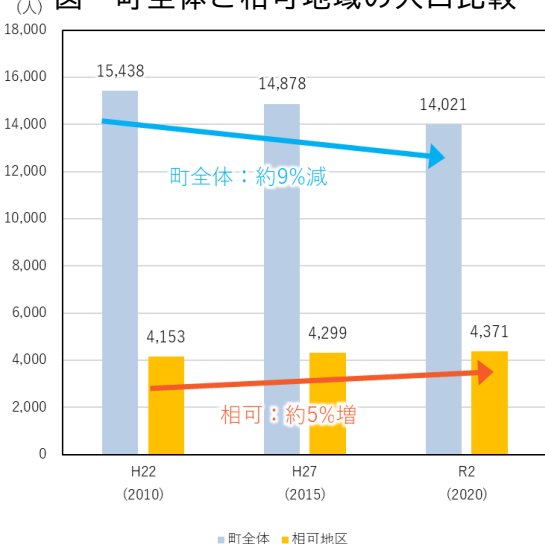


図 町全体と相可地域の人口比較

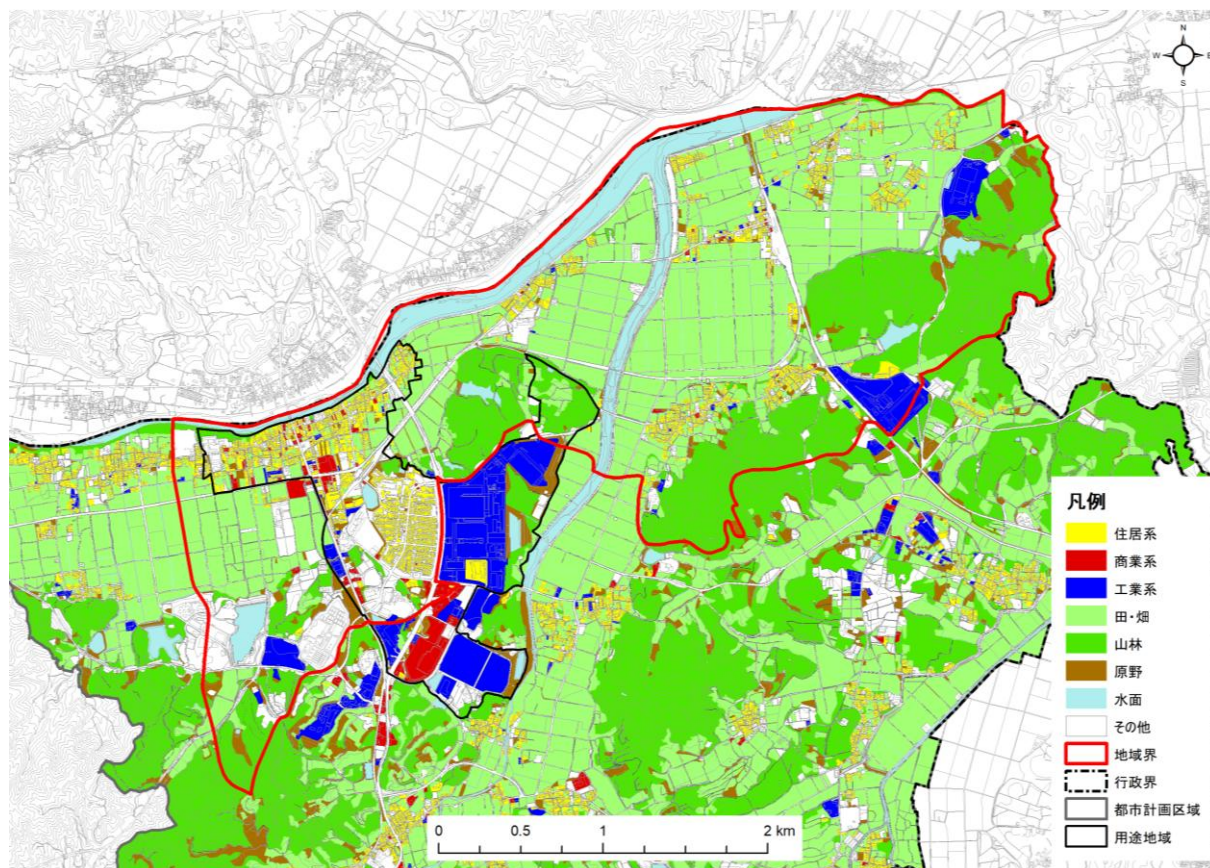


資料：国勢調査

②土地利用現況

- ・用途地域内では、多気ニュータウン相可台団地をはじめ、住宅系の建物が多くなっており、約 30%を占めています。
- ・地域内（都市計画区域内）の過半数が、田・畑、山林・原野となっています。

図 土地利用現況（令和 7 年） 相可地域



資料：都市計画基礎調査(令和 7 年)

表 土地利用現況

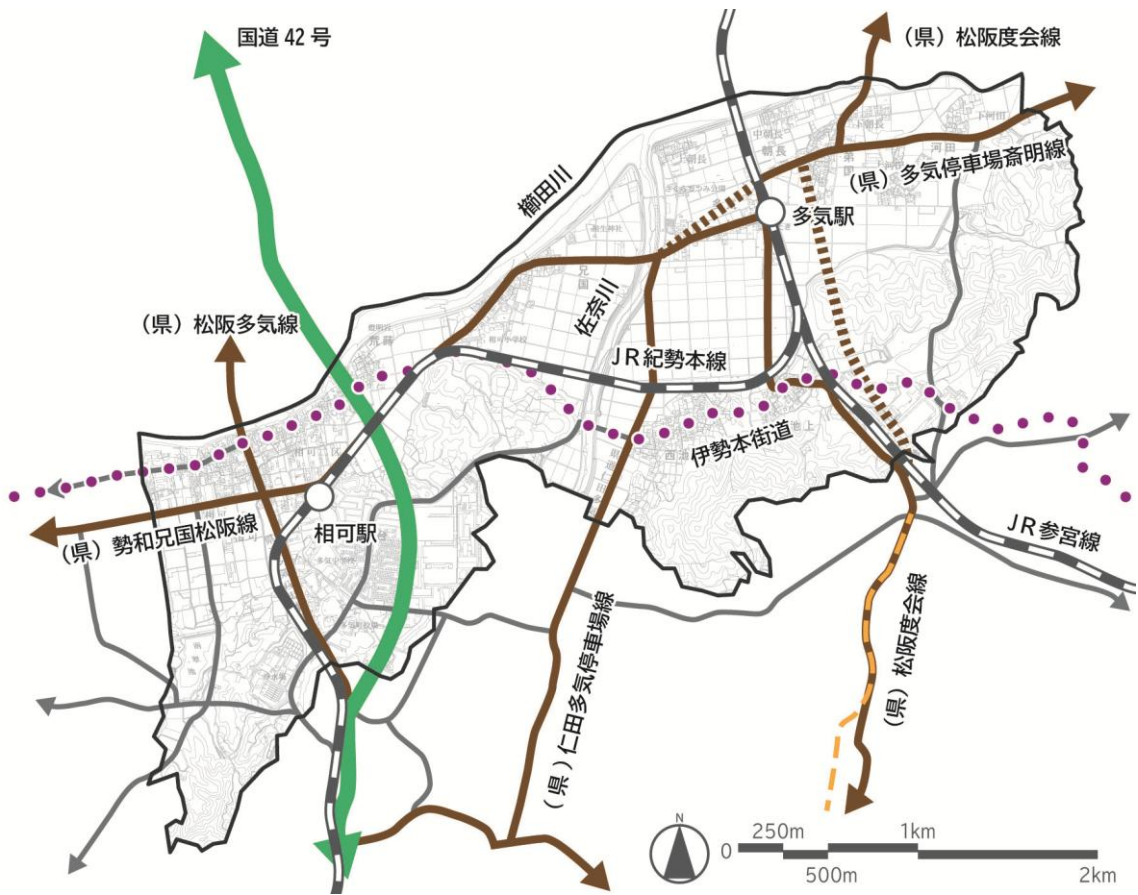
種別	都市計画区域		内用途地域		
	面積 (ha)	割合	面積 (ha)	割合	
宅地	住居系	71.48	7.7%	35.62	28.7%
	商業系	8.17	0.9%	5.94	4.8%
	工業系	26.63	2.9%	2.97	2.4%
	小計	106.28	11.4%	44.53	35.9%
非宅地	田・畑	333.01	35.9%	12.12	9.8%
	山林・原野	237.78	25.6%	18.41	14.8%
	その他	251.12	27.1%	49.01	39.5%
	小計	821.91	88.6%	79.54	64.1%
合計	928.19	100.0%	124.06	100.0%	
地域面積	928.19ha				

資料：都市計画基礎調査(令和 7 年)

③交通

- ・ J R 紀勢本線、参宮線が南北東西に走り、地域東に多気駅、地域西に相可駅があります。
- ・ 国道 42 号は、地区南北の広域幹線軸となっており、相可台や多気クリスタル工業ゾーンへのアクセス軸となっています。
- ・ (県) 勢和兄国松阪線は同路線南側にバイパスが整備されています。
- ・ (県) 勢和兄国松阪線は、J R 多気駅周辺でバイパス構想がありますがルートは未定です。
- ・ 地域を東西に伊勢本街道が通っています。

図 道路 相可地域



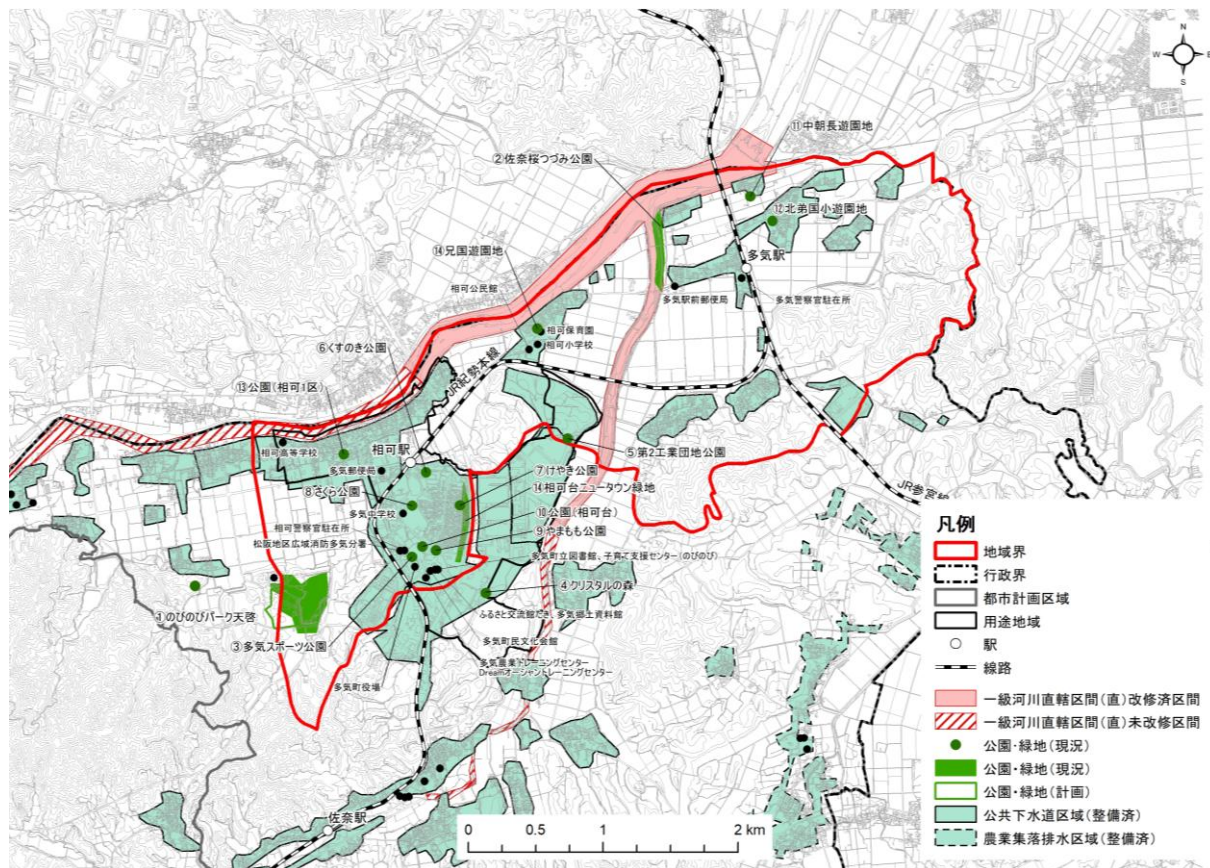
凡例

- 主要な河川
- 交通
 - ➡ 幹線道路 国道 (完成概成)
 - ➡ 幹線道路 県道 (完成概成)
 - ➡ 幹線道路 県道 (事業中)
 - ⋯ 幹線道路 県道 (構想路線)
 - ↔ 町道
 - ⋯ 街道
 - 鉄道

④主要施設

- ・公園では、のびのびパーク天啓の南側部分の整備計画があります。
- ・河川は一級河川櫛田川、佐奈川が合流する地域です。
- ・公共下水道が整備済です。

図 主要施設 相可地域

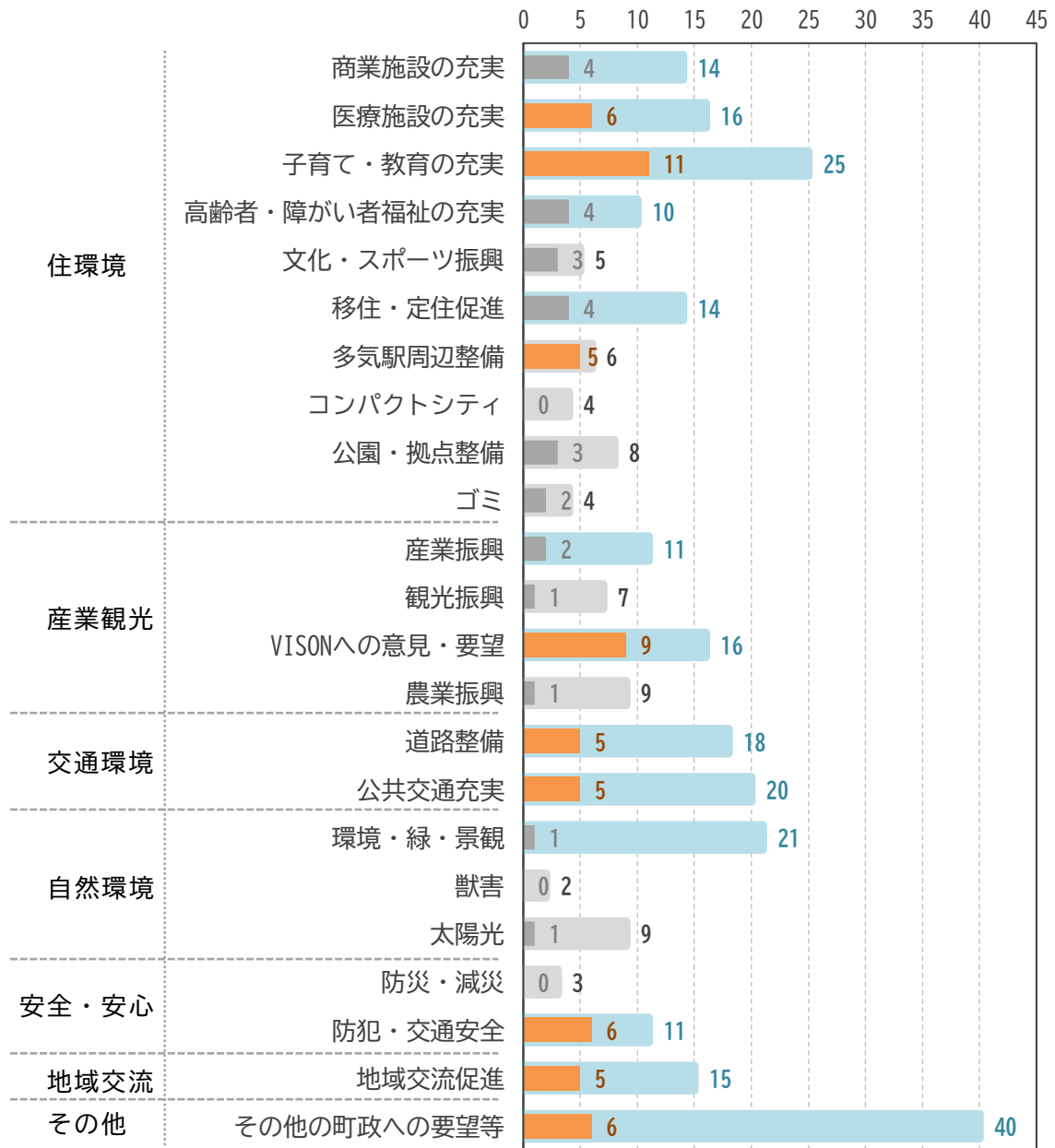


(2) 住民意向

① 町民アンケートより

- ・町民アンケートにおける自由意見では、医療施設の充実、子育て・教育の充実、多気駅周辺整備、VISON への意見・要望、道路整備、公共交通充実、防犯・交通安全、地域交流促進などの意見が多くみられました。

表 町民アンケート調査の自由意見



■町全体の意見 ■町全体の意見(多い) ■相可地域の意見 ■相可地域の意見(多い)

※相可地域は5以上、町全体は10以上の回答が多い意見と判断し着色している

②地域別意見交換会での主な意見（令和8（2026）年2月5日開催）

項目	これからのまちづくりに必要だと思うこと	地域で解決したいこと
①住環境	<p><土地利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の誘致 ・スポーツクラブとの連携（温水プール等） ・多気駅周辺の高度利用 <p><子育て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育施設の整備 ・安心して子育てができる環境の整備 	<p><子育て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後倶楽部の充実
②産業観光	<p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> ・田畑の集約、利活用（法人）の推進 <p><学校等跡地活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設（サッカー場）の整備 ・勢和地域と連携したマウンテンバイクコースの整備 <p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女鬼峠、水銀鉱跡地のPR ・地元食材を用いた飲食店の出店 	
③交通環境	<p><道路></p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭隘道路における拡幅、歩道整備（多気停車場斉明線の兄国～岩下、多気駅付近、松阪度会線、学生の通学路） ・主要地域、道路への自転車道の整備 <p><公共交通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・VISONと多気駅間をつなぐコミュニティバスの運行 ・でん多の充実 <p><多気駅前></p> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切、ロータリーの改修、整備 ・新規道路、バイパスの整備 	<p><公共交通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる送迎
④公園緑地 ・自然環境	-	<p><自然環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹林の整備
⑤防災	<p><インフラ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の整備（佐奈川以東） 	
⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用 	

(3) 施策の実施状況

- ・第2次都市計画マスタープランの検証を踏まえ、相可地域に係る取組の実施状況は以下の通りです。

第2次計画で位置づけた取組	実施状況	
相可台、相可駅～相可高校周辺の住環境維持向上	実施中	用途地域、地区計画継続で実施中
幹線道路沿道の店舗の誘導	実施中	県道勢和兄国松阪線バイパス沿道等への店舗等の誘導
多気駅周辺の住居系土地利用の整備	未実施	未実施
勢和兄国松阪線バイパス整備の延伸	要望中	県に要望中
公民館の多世代交流の拠点としての活用	実施中	町、地域住民、団体等により活用
伊勢本街道などにおける散策路・周辺景観整備	実施中	地元ガイドによる案内を実施中
	未実施	散策路整備は未実施

(4) 地域の主な課題

- ・本計画の全体構想での課題・方針、住民意向などを踏まえ、以下のように課題を設定しました。

項目	主な課題
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・町の中心地区としての都市機能（医療・福祉・商業・教育など）の維持・誘導 ・町役場・相可駅・多気駅周辺の住環境の維持・整備 ・地域コミュニティの維持・促進
産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致などによる、産業振興、雇用の場の創出 ・伊勢本街道などの歴史資源の活用
交通環境	<ul style="list-style-type: none"> ・町内外をつなぐ県道のバイパス整備、住宅地内の生活道路の整備、交通安全対策 ・多気駅における交通結節点としての機能強化、公共交通の充実
公園緑地 自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛田川・佐奈川の、環境・景観・治水に配慮した河川整備 ・優良農地、集落環境などの田園景観の維持・保全
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛田川・佐奈川洪水、ため池崩壊、土砂災害などに対する、自助、共助による地域の防災活動の推進

(5) テーマ・目標

＜相可地域のまちづくりのテーマ＞
町の中心地区としての都市機能の誘導と、
利便性の高い住環境を形成するまち

＜相可地域のまちづくりの目標＞

- 多気町役場・統合小学校・相可駅周辺の都市拠点における都市機能の誘導
- 多気駅周辺の交通結節点機能の向上と、利便性の高い住宅地の形成
- 相可駅～相可高校周辺や統合小学校周辺などにおける道路拡幅などの住環境改善
- 工業系用途地域や幹線道路沿道などにおける企業誘致

(6) まちづくりの整備方針

①住環境

- ・多気町役場・統合小学校・相可駅周辺の都市拠点において、高次的な都市機能（役場、図書館、文化会館、学校など）や商業・医療・福祉施設などの維持・誘導を行います。
- ・県道勢和兄国松阪線南側の住宅地整備及び生活サービス施設立地を促進します。
- ・多気駅周辺の交通機能の改善及び需要に応じた新たな住宅用地の整備などの推進による生活拠点の形成を推進します。
- ・田園・山間集落地において、経営支援や担い手育成などを通じた優良農地や森林の保全、及び既存集落の住環境の向上を図ります。
- ・人口維持、不良な空き家の発生抑制等のための空き家対策を推進します。
- ・相可小学校周辺は、地域のコミュニティ拠点として、小学校統廃合後も跡地の利活用により、高齢者交流、子育て支援等の機能の充実を図ります。
- ・統廃合後の小学校・保育園跡地について、老朽化した校舎は取り壊しを含め、公共施設としての利活用のほか、官民連携により、生活サービス、地域交流、観光振興などへの活用を進めます。
- ・SNS などを活用した、新たな地域コミュニティづくりや観光振興などの取組を促進します。

②産業観光

- ・国道 42 号バイパス沿道の商業地の立地誘導による、にぎわいのある空間形成を図ります。
- ・工業系用途地域における企業誘致等による、工業集積の強化、雇用の場の創出を図ります。
- ・伊勢本街道などの歴史資源を活用した散策路・周辺景観整備を推進します。

③交通環境・都市施設

- ・多気駅周辺の県道勢和兄国松阪線の拡幅やバイパス整備を関係機関に要望します。
- ・松阪市への円滑な交通確保のため、県道松阪度会線のバイパス整備を関係機関に要望します。
- ・相可駅～相可高校周辺など、住宅地、田園・山間集落地等における生活道路の拡幅を推進します。
- ・統合小学校周辺に歩道や交差点、駐車場を整備します。
- ・通学路の整備や防犯灯の設置、交通事故対策の強化などによる地域の安全性の確保を図ります。
- ・多気町役場・統合小学校・相可駅周辺の都市拠点や多気駅周辺の生活拠点内の道路や、駅から拠点を結ぶ主要道路は、誰もが安全に徒歩や自転車で移動できるよう、安全・安心な道路整備を進めます。
- ・多気駅における駅前広場などの交通結節点としての整備を推進します。
- ・鉄道駅から主要施設、各地域を結ぶバス・エリアタクシーなどの地域公共交通の充実を図ります。
- ・輸送力の向上及び利便性の向上のため、JR線の運行本数の増加及び駅構内の改修を関係機関に要望します。

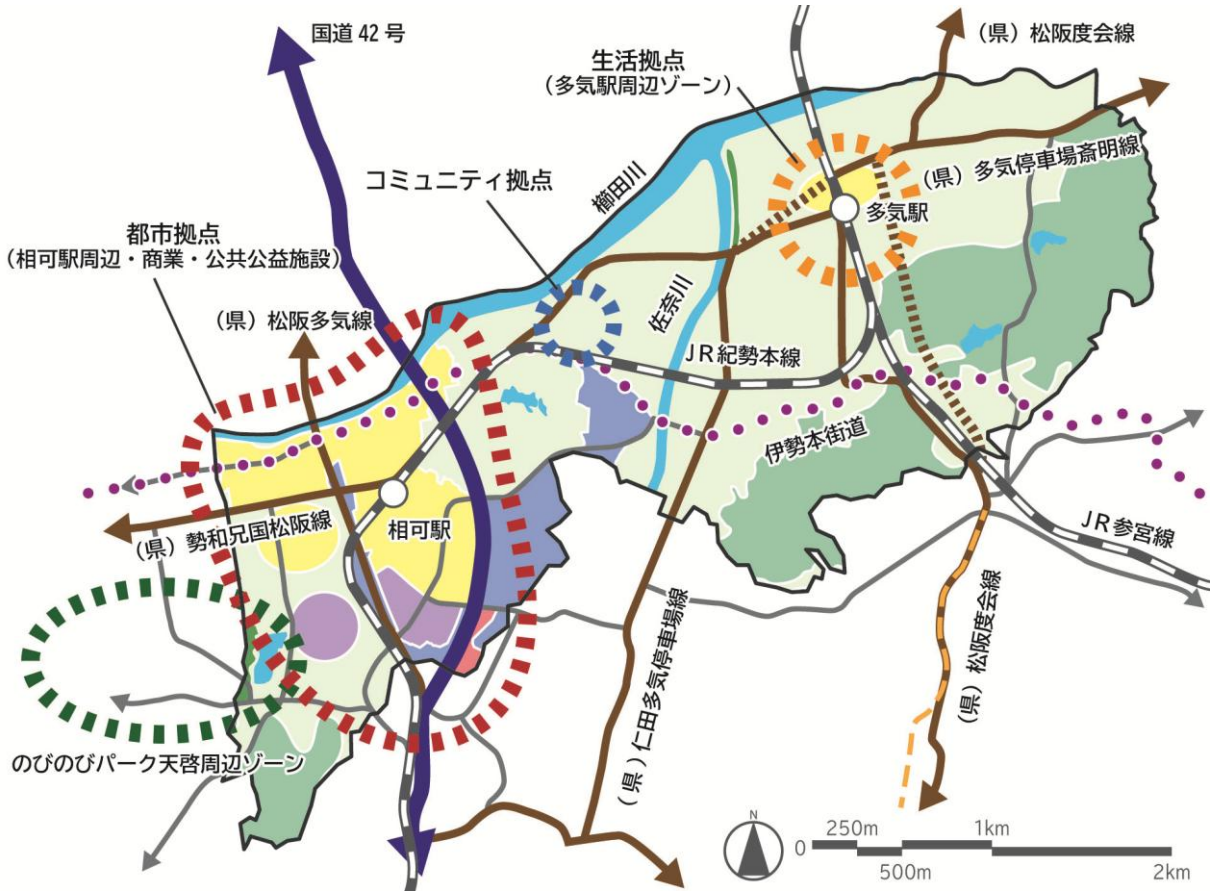
④公園緑地・自然環境

- ・特定用途誘導地域や風致地区を継続し、のびのびパーク天啓周辺の良好な環境の保全を図ります。
- ・櫛田川、佐奈川等における、環境・景観・治水に配慮した河川の維持管理や整備を要望します。
- ・「多気町太陽光発電施設の設置及び管理に関するガイドライン」、まちづくり条例検討などによる優良農地、集落環境などの田園景観の維持・保全を図ります。

⑤防災

- ・地域における、避難場所の周知や避難ルートの確認など、防災活動を推進します。

図 相可地域の将来構想図




凡例

- | | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> — 地域界 — 主要な河川・ため池 — 主要な公園・緑地 | <p><軸></p> <ul style="list-style-type: none"> ↔ 広域連携軸 → 幹線道路軸 - - - 幹線道路軸 (事業中) ⋯ 幹線道路軸 (構想路線) ↔ 町道 ⋯ 街道 ○ 公共交通軸 (鉄道) | <p><土地利用></p> <ul style="list-style-type: none"> 住居ゾーン 商業ゾーン 公共公益施設ゾーン 工業ゾーン 田園集落地ゾーン 山林ゾーン |
| <p><拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> 都市拠点 生活拠点 コミュニティ拠点 広域交流拠点 交流拠点 | | |

2-2 佐奈地域

(1) 地域概要

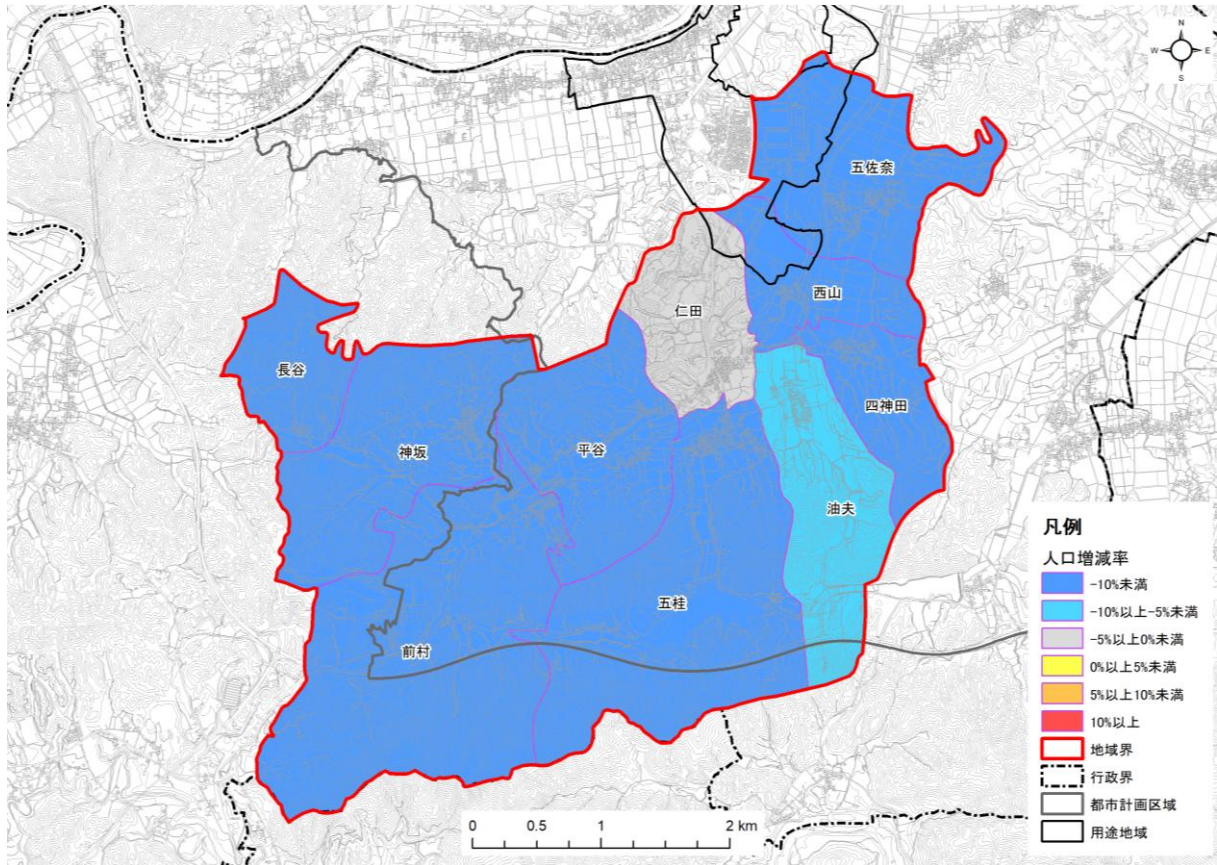
表 地域概要

現況特性				
区域区分	面積	R2人口	R2世帯	世帯人員
全域	1,907ha	2,589人	1,109戸	2.3人/戸
都市計画区域	1,235ha	2,404人	1,036戸	2.3人/戸
都市計画区域外	673ha	185人	73戸	2.5人/戸
<ul style="list-style-type: none"> ・佐奈地域は佐奈川を中心に広がる田園集落地となっています。 ・国道42号が南北方向、伊勢自動車道が東西方向の広域交通軸となっています。 ・地域内の60%以上が都市計画区域となっており、一部が商業・工業の用途地域に定められています。 		 <p>■位置図</p>		

①人口動向

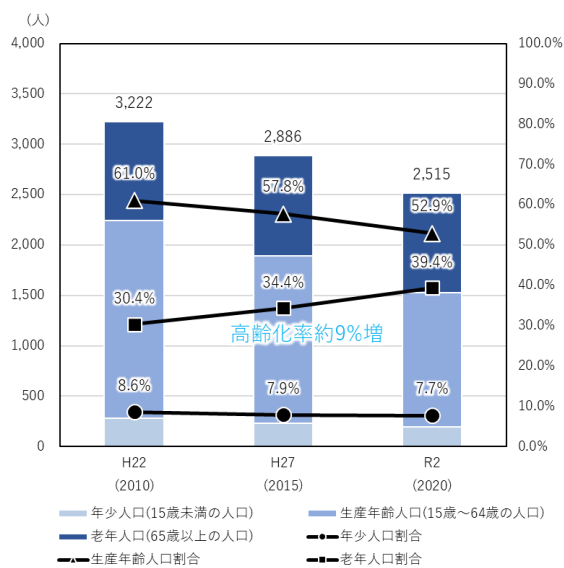
- ・地域内の人口は、平成 22（2010）年～令和 2（2020）年の間に約 21%減少しており、町全体の減少率（9%）より 2 倍以上の減少率となっています。
- ・平成 22（2010）年～令和 2（2020）年の間に高齢化率は約 9%増加しています。

図 人口動向（平成 27 年～令和 2 年） 佐奈地域



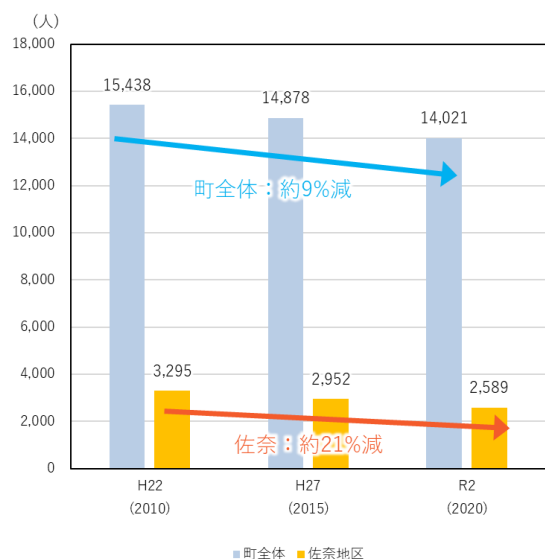
資料：国勢調査

図 年齢 3 区分別人口推移 佐奈地域



※年齢不詳は除く

図 町全体と佐奈地域の人口比較

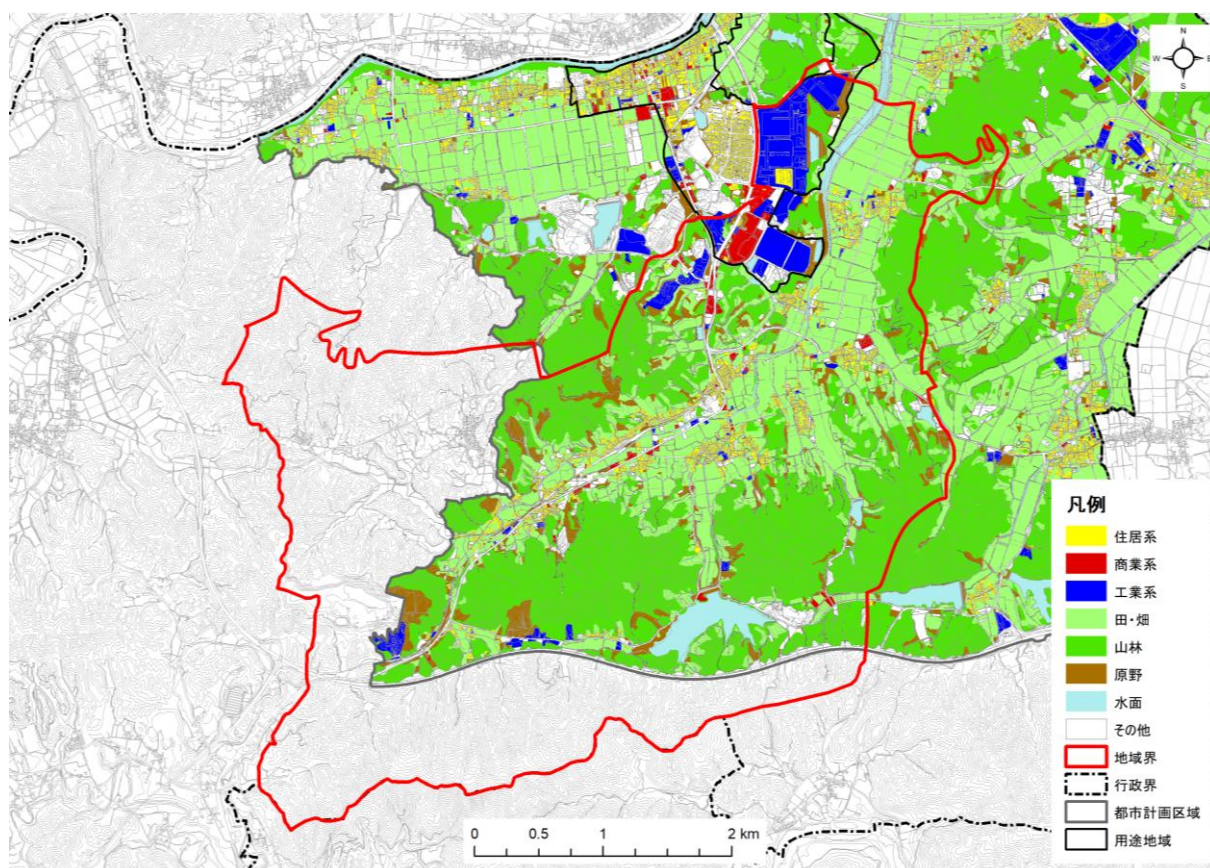


資料：国勢調査

②土地利用現況

- ・用途地域内は、工場が多く立地しており、50%以上が工業系の用途となっています。
- ・地域の中央を通過する県道 42 号付近が平坦となっており、田・畑、宅地が広がっています。また、それらの後背地に山林・原野が広がっています。

図 土地利用現況（令和 7 年） 佐奈地域



資料：都市計画基礎調査(令和 7 年)

表 土地利用現況

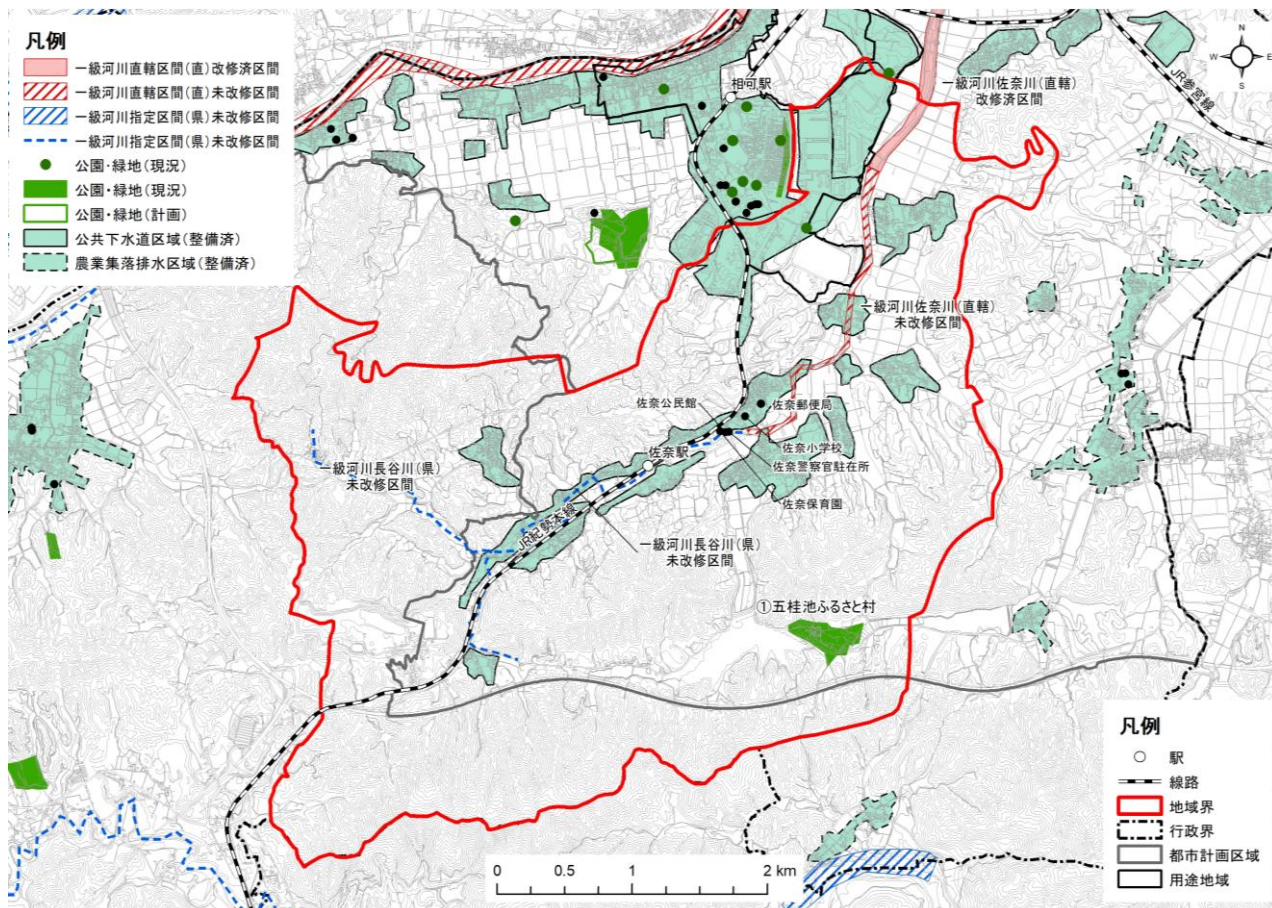
種別	都市計画区域		内用途地域		
	面積 (ha)	割合	面積 (ha)	割合	
宅地	住居系	53.06	4.3%	1.98	2.3%
	商業系	14.85	1.2%	7.91	9.2%
	工業系	63.80	5.2%	45.01	52.1%
	小計	131.70	10.7%	54.89	63.5%
非宅地	田・畑	326.16	26.4%	1.30	1.5%
	山林・原野	592.39	48.0%	14.42	16.7%
	その他	184.65	15.0%	15.82	18.3%
	小計	1,103.20	89.3%	31.54	36.5%
合計	1,234.90	100.0%	86.44	100.0%	
地域面積	1,907.85ha				

資料：都市計画基礎調査(令和 7 年)

④主要施設

- ・ごかつら池ふるさと村があります。
- ・公共下水道が整備済で、合併浄化槽も整備しています。

図 主要施設 佐奈地域

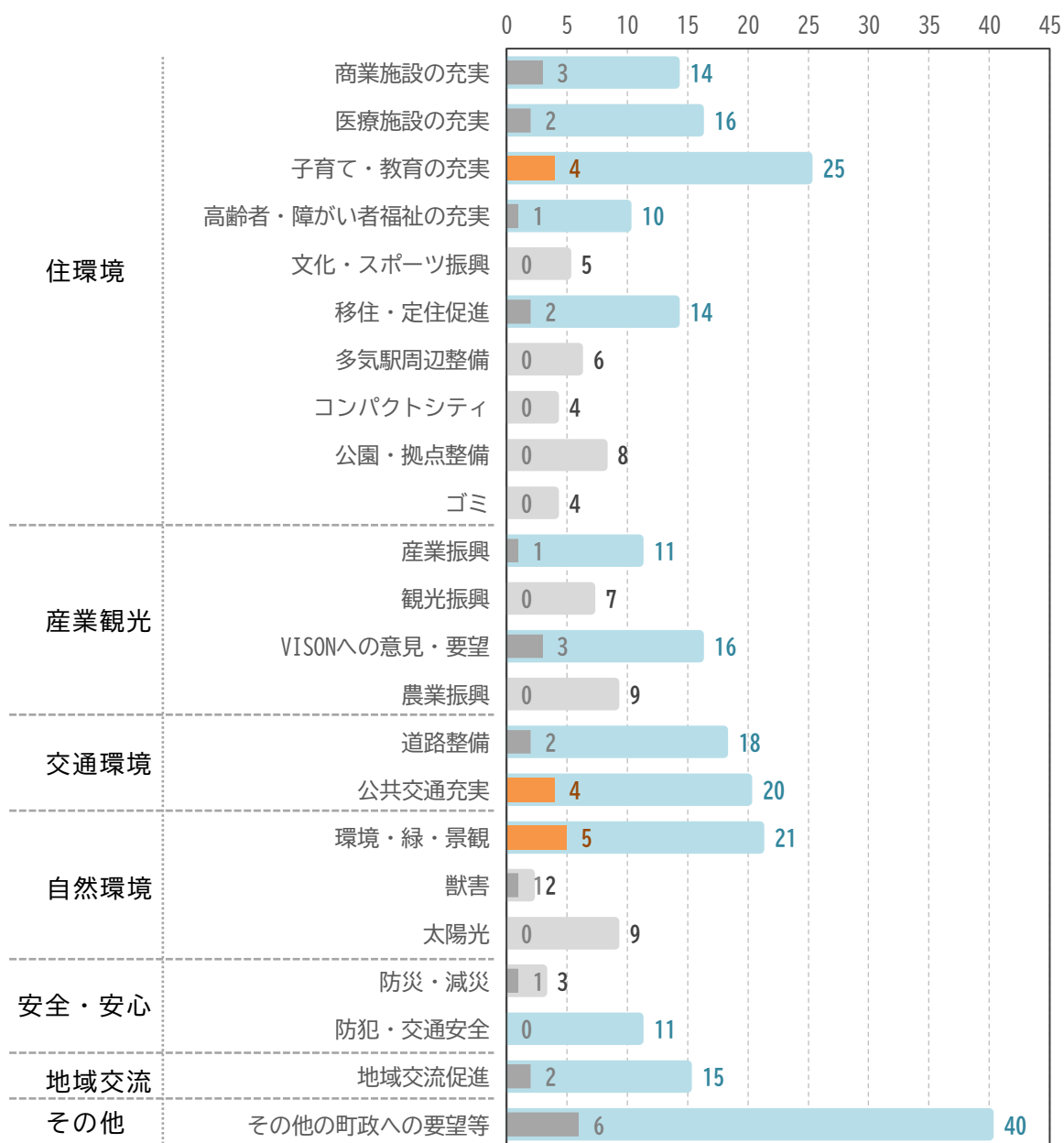


(2) 住民意向

① 町民アンケートより

- ・町民アンケートにおける自由意見では、子育て・教育の充実、公共交通充実、環境・緑・景観などの意見が多くみられました。

表 町民アンケート調査の自由意見



■町全体の意見 ■町全体の意見(多い) ■佐奈地域の意見 ■佐奈地域の意見(多い)

※佐奈地域は4以上、町全体は10以上の回答が多い意見と判断し着色している

②地域別意見交換会での主な意見（令和8（2026）年2月4日開催）

項目	これからのまちづくりに必要だと思うこと	地域で解決したいこと
①住環境	<ul style="list-style-type: none"> <住宅> ・空き家対策、解体、活用の支援 ・安全性の確保 <土地利用> ・商業施設の撤退・維持条件の明確化 ・医療、福祉施設の誘致 ・診療所の維持（松阪射和地区） ・流動的な土地利用の検討 ・売却希望農地の可視化、共有 ・農地の共有管理体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> <住宅> ・空き家対策（改修、売却）の促進 <交流> ・小学校統合後のコミュニティ維持 ・公民館の地元への解放
②産業観光	<ul style="list-style-type: none"> <工業> ・公害、雇用を考慮した企業誘致 <農林業> ・持続可能な営農体制の検討 ・技術の継承 ・新規労働者、外国人労働者の呼び込み <観光> ・各地域への拠点整備 ・官民連携（VISON） ・和歌山別街道の整備による魅力向上 	
③交通環境	<ul style="list-style-type: none"> <道路> ・ビーフロードと国道の接続（平谷地区） ・自転車道路の整備、利用の推進 <公共交通> ・多気駅、相可地域へのアクセス手段の充実 ・でん多の利用における補助の検討 ・自動運転バス、タクシーの導入 	<ul style="list-style-type: none"> <道路> ・統合小学校の通学路における防犯灯の設置
④公園緑地 ・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <公園> ・ジョギング、ウォーキング、サイクリングができる空間の整備 <自然環境> ・ソーラーパネルの放置への対応 	<ul style="list-style-type: none"> <自然環境> ・獣害対策の実施、箱罫の管理
⑤防災	<ul style="list-style-type: none"> <インフラ> ・防災行政無線の充実、適正な管理 	<ul style="list-style-type: none"> <地域防災> ・地域コミュニティの強化 ・自主防災活動の実施、支援
⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> <学校等跡地活用> ・子どもや高齢者も遊べる施設整備 ・自由度の高い学童の整備 ・宿泊施設の誘致 	

(3) 施策の実施状況

- ・第2次都市計画マスタープランの検証を踏まえ、佐奈地域に係る施策の実施状況は以下の通りです。

第2次計画で位置づけた取組	実施状況	
クリスタルタウンの商業機能の維持向上	実施中	用途地域継続で実施中
クリスタルタウンの工業機能の向上	実施中	用途地域継続、企業誘致を推進
広域交流拠点の計画誘導	実施済	VISONが開業、周辺道路を整備
ごかつら池ふるさと村の維持管理・運営	実施中	官民連携による維持管理を実施
公民館の多世代交流の拠点としての活用	実施中	町、地域住民、団体等により活用
熊野街道などにおける散策路・周辺景観整備	実施中	地元ガイドによる案内を実施中
	未実施	散策路整備は未実施

(4) 地域の主な課題

- ・本計画の全体構想での課題・方針、住民意向などを踏まえ、以下のように課題を設定しました。

項目	主な課題
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・田園・山間集落地における住環境の向上、空き家対策 ・地域住民の生活を支える小店舗などの誘導 ・地域コミュニティの維持・促進
産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致などによる産業振興、雇用の場の創出 ・交流拠点の魅力向上 ・熊野街道など歴史資源の活用
交通環境	<ul style="list-style-type: none"> ・田園・山間集落地などにおける生活道路の整備、交通安全対策 ・バス・エリアタクシーなどによる公共交通の充実
公園緑地 自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・五桂池周辺、森林などの良好な環境の保全 ・佐奈川の環境・景観・治水に配慮した河川整備 ・優良農地、集落環境などの田園景観の維持・保全
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・佐奈川の洪水、ため池崩壊、土砂災害などに対する、自助、共助による地域の防災活動の推進

(5) テーマ・目標

<佐奈地域のまちづくりのテーマ>

産学官の連携による交流拠点の魅力向上と快適な生活環境をそなえたまち

<佐奈地域のまちづくりの目標>

- 産学官の連携による交流拠点の魅力向上
- 自然環境との調和、道路整備、地域コミュニティ維持・促進などによる、快適な生活環境の確保

(6) まちづくりの整備方針

①住環境

- ・田園・山間集落地において、経営支援や担い手育成などを通じた優良農地や森林の保全、及び既存集落の住環境の向上を図ります。
- ・人口維持、不良な空き家の発生抑制等のための空き家対策を推進します。
- ・幹線道路沿道などへの、地域住民の生活を支える小店舗などを誘導します。
- ・佐奈公民館は地域のコミュニティ拠点として、高齢者交流、子育て支援等の機能の充実を図ります。
- ・統廃合後の小学校・保育園跡地について、公共施設としての利活用の他、官民連携により、生活サービス、地域交流、観光振興などへの活用を進めます。
- ・SNSなどを活用した、新たな地域コミュニティづくりや観光振興などの取組を促進します。
- ・医療体制の充実を図ります。
- ・工業集積地、クリスタルタウン等の商業地など土地利用特性に適した景観形成を図ります。

②産業観光

- ・国道42号バイパス沿道の商店の立地誘導による、にぎわいのある空間を形成します。
- ・工業系用途地域における企業誘致等による、工業集積の強化、雇用の場の創出を図ります。
- ・産学官連携による、ごかつら池ふるさと村などの交流拠点の魅力向上、活用促進を図ります。
 - ・和歌山別街道などの歴史資源を活用した散策路や周辺景観を整備します。

③交通環境

- ・田園・山間集落地等における生活道路の整備を推進します。
- ・通学路の整備や防犯灯の設置など、交通事故対策の強化等による地域の安全性の確保を図ります。
- ・主要施設から各施設を結ぶバス・エリアタクシーなどの地域公共交通の充実を図ります。

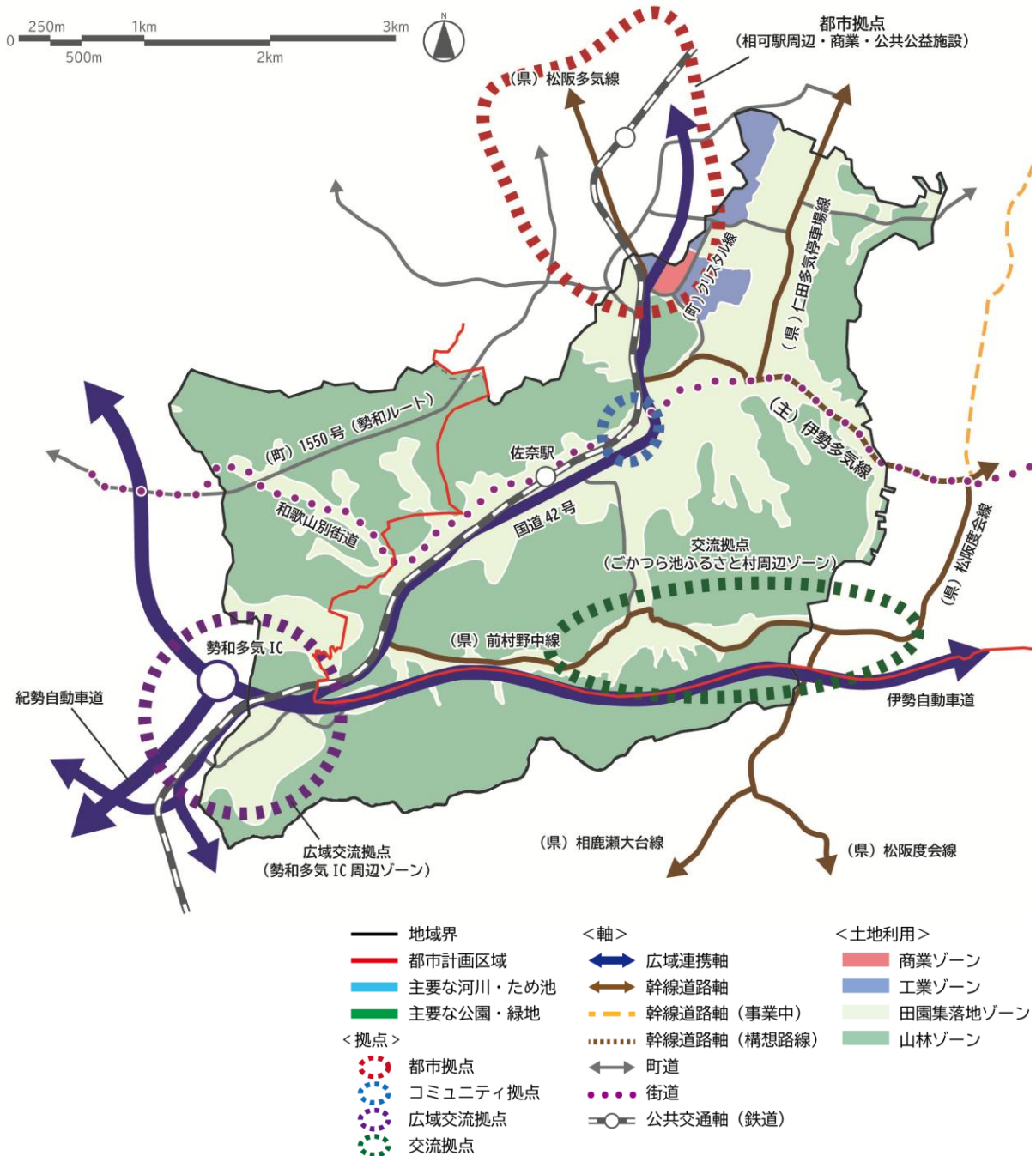
④公園緑地・自然環境

- ・ 特定用途誘導地域や風致地区の継続による五桂池周辺の良好な自然環境の保全を図ります。
- ・ 佐奈川等の環境・景観・治水に配慮した河川の維持管理や整備を要望します。
- ・ 「多気町太陽光発電施設の設置及び管理に関するガイドライン」、まちづくり条例検討などによる優良農地、集落環境などの田園景観の維持・保全を図ります。

⑤防災

- ・ 地域における避難場所の周知や避難ルートの確認など、防災活動を推進します。


図 佐奈地域の将来構想図



2-3 津田地域

(1) 地域概要

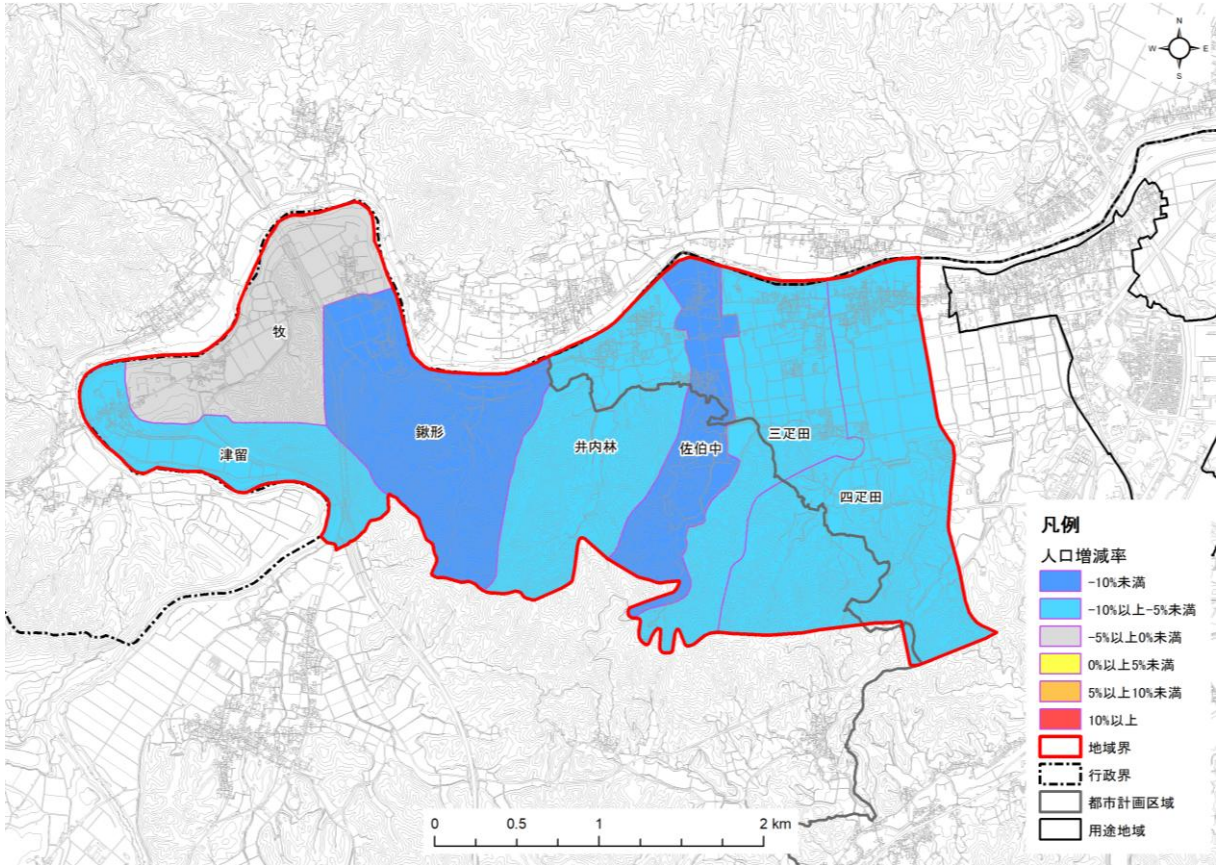
表 地域概要

現況特性				
区域区分	面積	R2人口	R2世帯	世帯人員
全域	828ha	1,283人	445戸	2.9人/戸
都市計画区域	274ha	971人	331戸	2.9人/戸
都市計画区域外	554ha	312人	114戸	2.7人/戸
<ul style="list-style-type: none"> ・津田地域は櫛田川沿いに形成された田園集落地となっています。 ・県道421号が東西方向の交通軸を形成しています。 ・地域内の約30%以上が都市計画区域となっており、用途地域は定められていません。 		 <p>■位置図</p>		

①人口動向

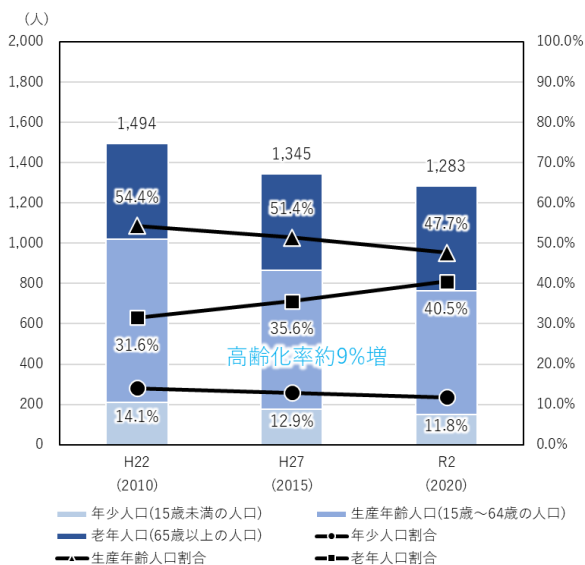
- ・地域内の人口は、平成 22（2010）年～令和 2（2020）年の間に約 14%減少しており、町全体の減少率（9%）より高くなっています。
- ・平成 22（2010）年～令和 2（2020）年の間に高齢化率は約 9%増加しています。

図 人口動向（平成 27 年～令和 2 年） 津田地域



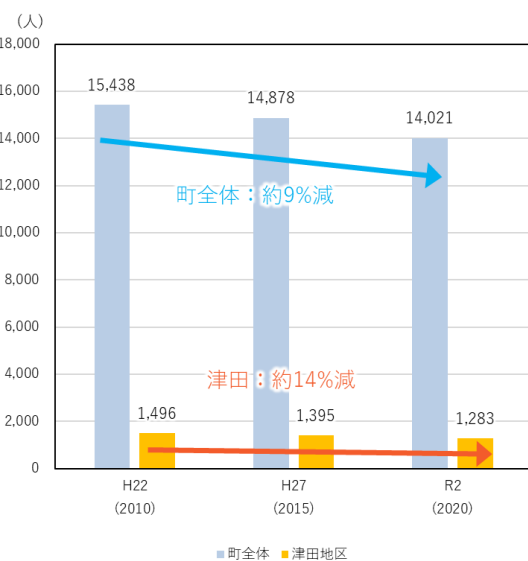
資料：国勢調査

図 年齢3区分別人口推移 津田地域



※年齢不詳は除く

図 町全体と津田地域の人口比較

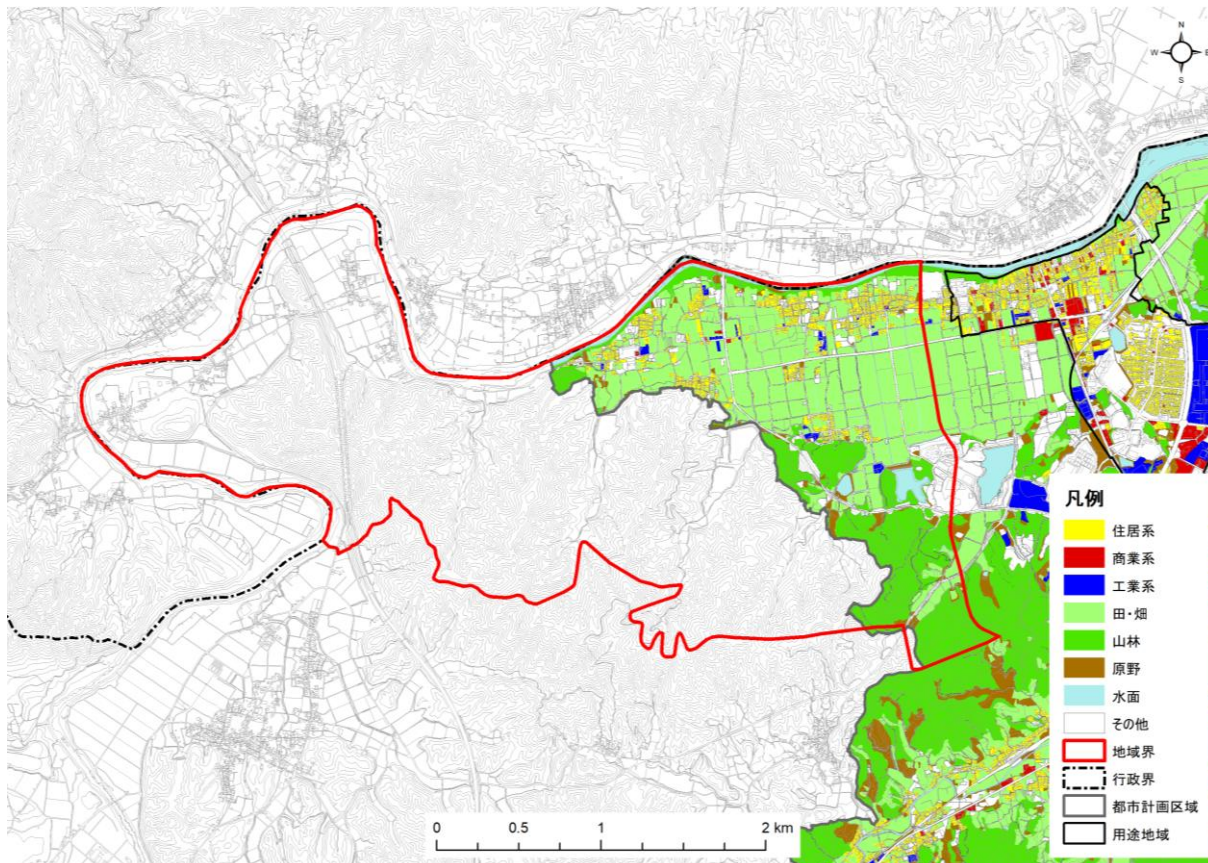


資料：国勢調査

②土地利用現況

- ・都市計画区域内の約70%が、田・畑、山林・原野となっており、宅地は10%未満となっています。

図 土地利用現況（令和7年） 津田地域



資料：都市計画基礎調査(令和7年)

表 土地利用現況

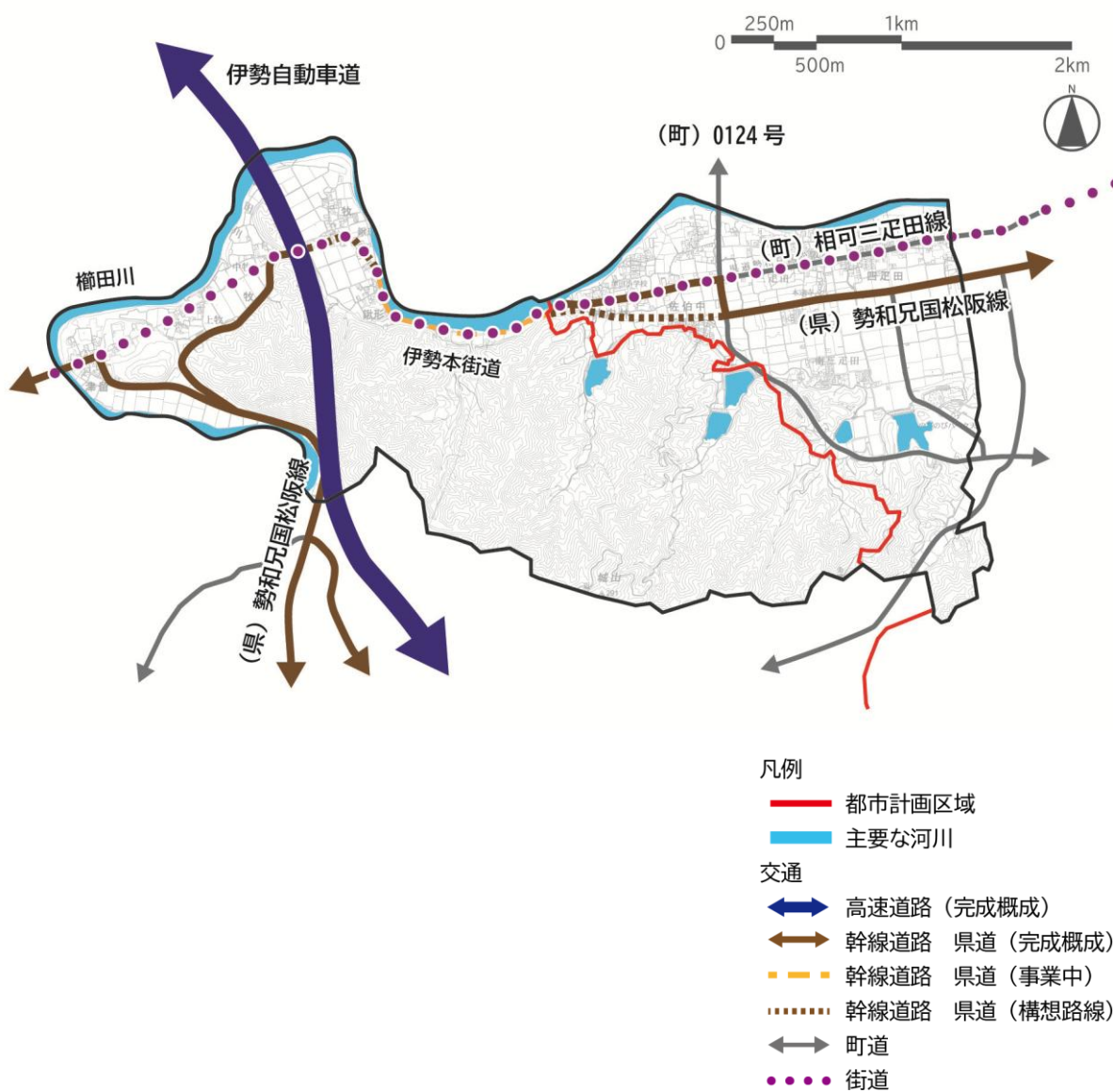
種別	都市計画区域		内用途地域		
	面積 (ha)	割合	面積 (ha)	割合	
宅地	住居系	22.84	8.3%	—	—
	商業系	0.31	0.1%	—	—
	工業系	2.16	0.8%	—	—
	小計	25.32	9.2%	—	—
非宅地	田・畑	117.04	42.8%	—	—
	山林・原野	75.13	27.4%	—	—
	その他	56.23	20.5%	—	—
	小計	248.40	90.8%	—	—
合計	273.72	100.0%	—	—	
地域面積	828.19ha				

資料：都市計画基礎調査(令和7年)

③交通

- ・(県)勢和兄国松阪線及び(町)相可三疋田線は地域の生活軸となっていますが狭隘であり、県道の拡幅整備が進んでいます。
- ・その他、のびのびパーク天啓周辺で町道の整備が進んでいます。
- ・地域を東西に伊勢本街道が通っています。

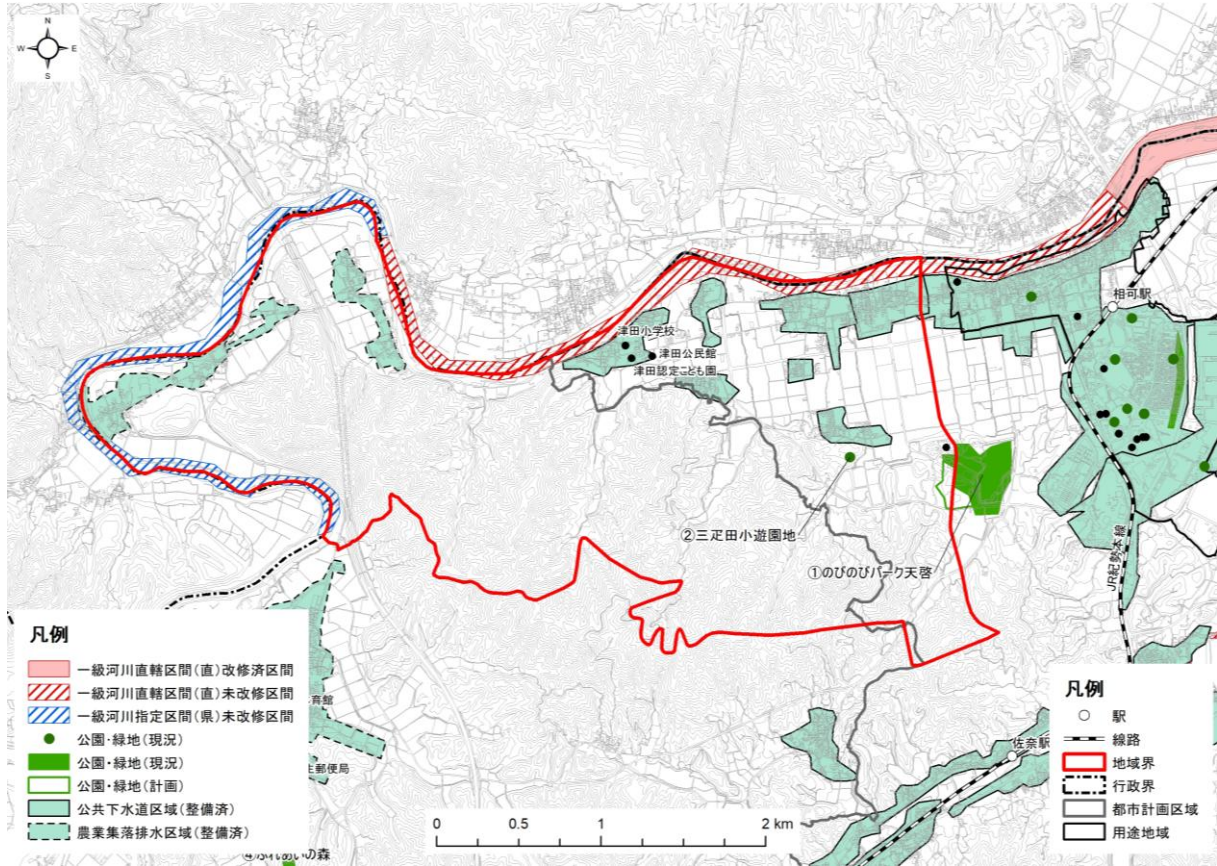
図 道路 津田地域



④主要施設

- ・公共下水道及び農業集落排水が整備済です。

図 主要施設 津田地域

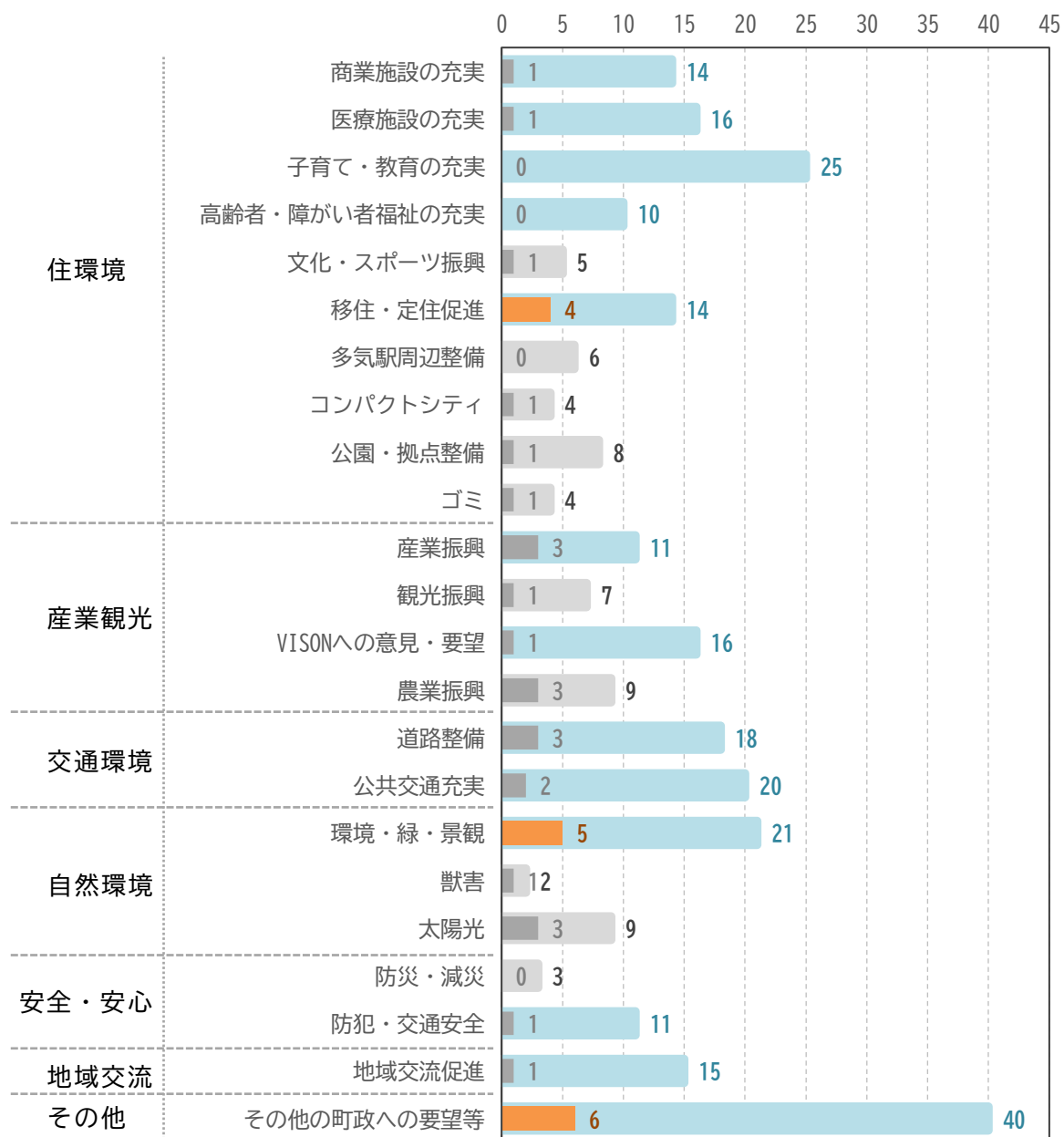


(2) 住民意向

①町民アンケートより

- ・町民アンケートにおける自由意見では、移住・定住促進、環境・緑・景観などの意見が多くみられました。

表 町民アンケート調査の自由意見



■町全体の意見 ■町全体の意見(多い) ■津田地域の意見 ■津田地域の意見(多い)

※津田地域は4以上、町全体は10以上の回答が多い意見と判断し着色している

②地域別意見交換会での主な意見（令和8（2026）年2月9日開催）

	これからのまちづくりに必要だと思うこと	地域で解決したいこと
①住環境	<p><土地利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物ができる環境の整備（都市機能誘導区域外） ・商業、福祉、医療、公共施設の整備 <p><治安></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境の向上 <p><学校等跡地活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、保育所跡地の利活用（研修施設、診療所、カフェ、温泉施設） 	<p><住宅></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き地の対策 <p><人口></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の定住促進 <p><交流></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる地域交流の促進 ・地域のリーダー育成 ・地元行事の共同運営 <p><治安></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道の清掃、維持管理
②産業観光	<p><農林業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の育成、就農機会の創出 ・獣害対策、負担軽減などの営農支援 <p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の整備と地産商品の販売の促進（次郎柿の干し柿、あられ、いせいも） 	<p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊経営等の空き家の利活用による移住者の促進
③交通環境	<p><道路></p> <ul style="list-style-type: none"> ・街道沿いの歩道、自転車道の整備 ・道路の拡幅（県道勢和兎国線） ・バイパスの開通（佐伯中～勢和間） ・街灯の増設 <p><公共交通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町営バスの運行本数の見直し（クリスタルタウン方面） ・医療施設へのアクセスの確保 ・スクールバスの増便（多気駅） 	<p><公共交通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライドシェアによる買い物支援
④公園緑地 ・自然環境	<p><公園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の増設、遊具の充実 <p><自然環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーパネル設置への対策 ・里山整備、森林環境保全、竹林間伐 ・獣害対策 	<p><自然環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山除草の適正な管理 ・田畑の適正な維持 ・放置された果実の適正な管理
⑤防災	<p><インフラ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・櫛田川沿いの住宅における浸水対策 ・豪雨に適応できる圃場、水路の整備 	

(3) 施策の実施状況

- ・第2次都市計画マスタープランの検証を踏まえ、津田地域に係る施策の実施状況は以下の通りです。

第2次計画で位置づけた取組	実施状況	
空き家の、町外からの移住先や店舗・事務所等としての活用推進	継続	空き家バンクの継続
県道勢和兄国松阪線整備(佐伯中以西)	要望中	一部区間事業化、バイパス整備等引き続き県へ要望中
のびのびパーク天啓の整備、風致の維持	継続	施設充実、維持管理、風致地区等の継続
公民館の多世代交流の拠点としての活用	実施中	町、地域住民、団体等により活用
伊勢本街道などにおける散策路・周辺景観整備	実施中	地元ガイドによる案内を実施中
	未実施	景観整備は未実施

(4) 地域の主な課題

- ・本計画の全体構想での課題・方針、住民意向などを踏まえ、以下のように課題を設定しました。

項目	主な課題
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・集落地における住環境の向上、空き家対策 ・地域住民の生活を支える小店舗などの誘導 ・地域コミュニティの維持・促進
産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢本街道などの歴史資源の活用
交通環境	<ul style="list-style-type: none"> ・(県)勢和兄国松阪線整備、集落地内の生活道路の整備、交通安全対策 ・バス・エリアタクシーなどによる公共交通の充実
公園緑地 自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのびパーク周辺、森林などの良好な環境の保全 ・櫛田川の環境・景観・治水に配慮した河川整備 ・優良農地、集落環境などの田園景観の維持・保全 ・農業集落排水を公共下水道へ統合することによる、生活排水処理の効率化
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛田川の洪水、ため池崩壊、土砂災害などに対する、自助、共助による地域の防災活動の推進

(5) テーマ・目標

<津田地域のまちづくりのテーマ>

緑豊かな山なみや櫛田川の豊かな水辺環境とともに
安心して暮らせる心安らぐまち

<津田地域のまちづくりの目標>

- 県道勢和兄国松阪線の整備促進、地域コミュニティ維持・促進などによる、快適な生活環境の確保
- 伊勢本街道沿いなどの歴史資源の活用、PR
- 櫛田川の防災強化など、災害に強い安全安心なまち

(6) まちづくりの整備方針

① 住環境

- ・ 田園・山間集落地において、経営支援や担い手育成などを通じた優良農地や森林の保全、及び既存集落の住環境の向上を図ります。
- ・ 人口維持、不良な空き家の発生抑制等のための空き家対策を推進します。
- ・ (県) 勢和兄国松阪線整備と併せた沿道店舗などの誘導を図ります。
- ・ 津田公民館周辺は地域のコミュニティ拠点として、高齢者交流、子育て支援等の機能の充実を図ります。
- ・ 統廃合後の小学校・保育園跡地について、老朽化した校舎は取り壊しを含め、公共施設としての利活用のほか、官民連携により、生活サービス、地域交流、観光振興などへの活用を進めます。
- ・ SNS などを活用した、新たな地域コミュニティづくりや観光振興などの取組を推進します。

② 産業観光

- ・ 伊勢本街道などの歴史資源を活用した散策路や周辺景観を整備します。

③ 交通環境

- ・ 県道勢和兄国松阪線の事業化区間の早期整備やバイパス整備を要望します。
- ・ 集落地などにおける生活道路を整備します。
- ・ 通学路の整備や防犯灯の設置など、交通事故対策の強化等による地域の安全性の確保を図ります。
- ・ 主要施設から各施設を結ぶバス・エリアタクシーなどの地域公共交通の充実を図ります。

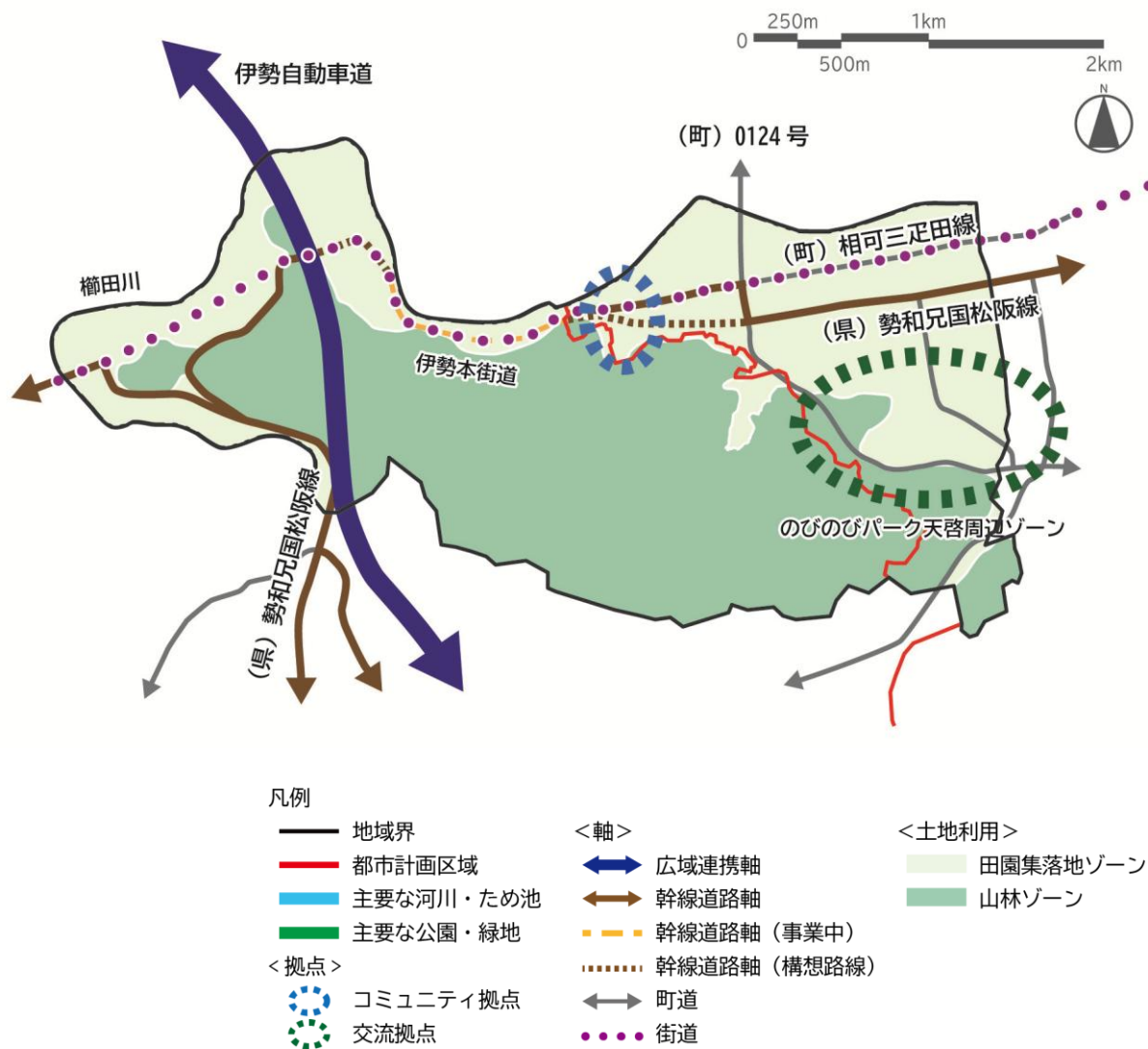
④ 公園緑地・自然環境

- ・ 特定用途誘導地域や風致地区の継続によるのびのびパーク天啓周辺の良好な環境の保全を図ります。
- ・ 櫛田川等の環境・景観・治水に配慮した河川の維持管理や整備を要望します。
- ・ 「多気町太陽光発電施設の設置及び管理に関するガイドライン」、まちづくり条例検討などによる優良農地、集落環境などの田園景観の維持・保全を図ります。
- ・ 農業集落排水施設を廃止し、公共下水道への接続を推進していきます。

⑤防災

・地域における、避難場所の周知や避難ルートの確認など、防災活動を推進します。

図 津田地域の将来構想図




2-4 外城田地域

(1) 地域概要

表 地域概要

現況特性				
区域区分	面積	R2人口	R2世帯	世帯人員
全域	1,291ha	1,426人	454戸	3.1人/戸
都市計画区域	915ha	1,292人	415戸	3.1人/戸
都市計画区域外	376ha	134人	39戸	3.4人/戸

・外城田地域は町東部の外城田川流域に形成された田園集落地区となっています。
 ・地域内の約70%が都市計画区域となっており、用途地域は定められていません。

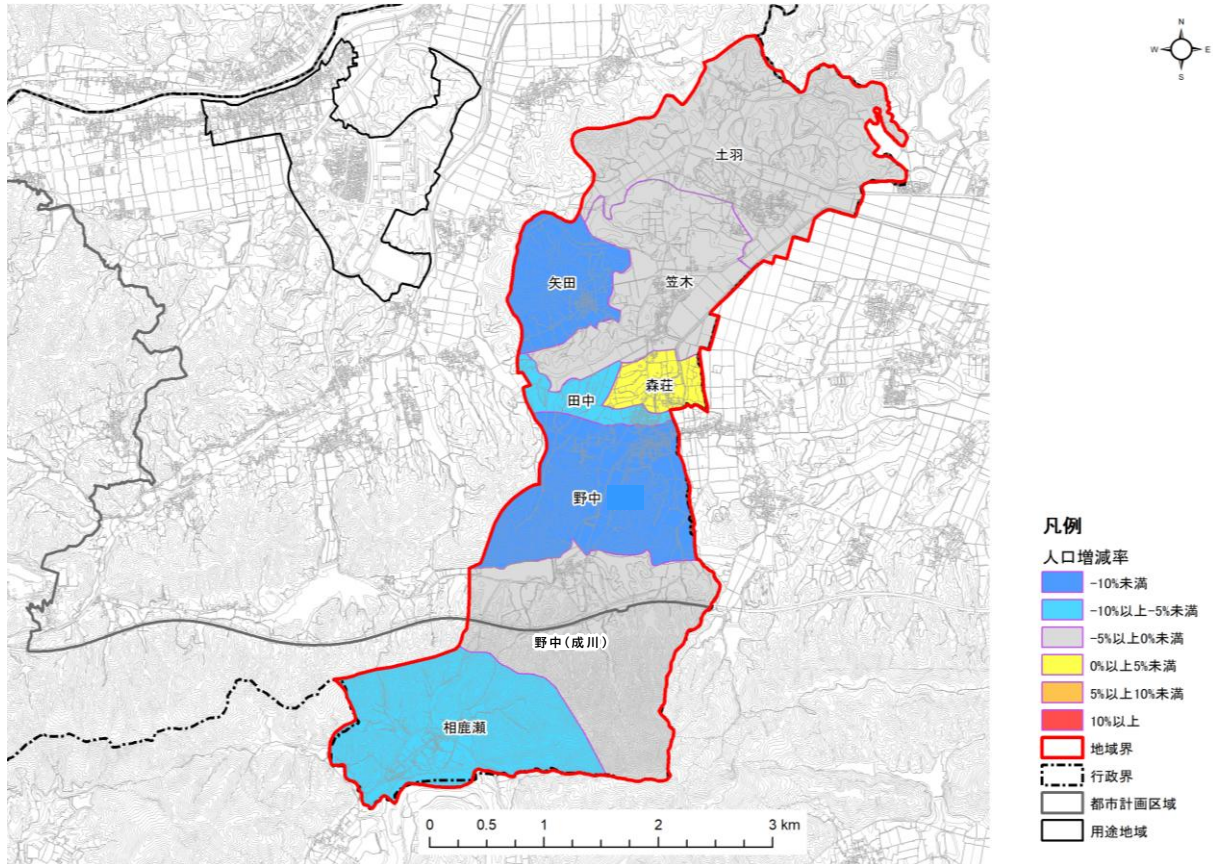


■位置図

①人口動向

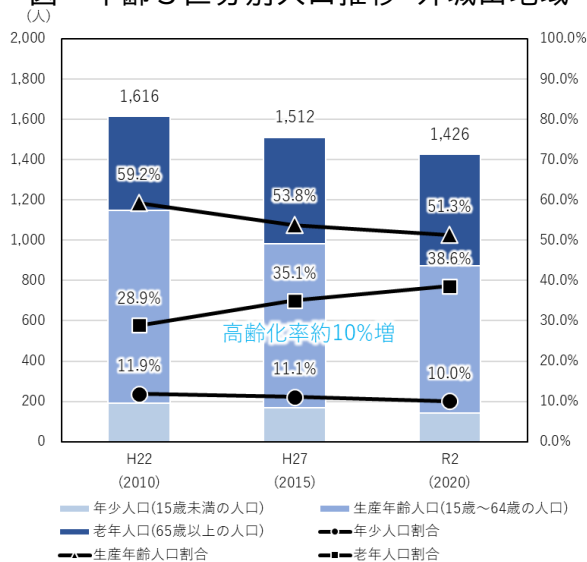
- ・平成 27（2015）年～令和 2（2020）年の間に森荘地区は人口が増加していますが、それ以外の地区は減少しています。
- ・地域内の人口は、平成 22（2010）年～令和 2（2020）年の間に約 12%減少しており、町全体の減少率（9%）より高くなっています。
- ・平成 22（2010）年～令和 2（2020）年の間に高齢化率は約 10%増加しています。

図 人口動向（平成 27 年～令和 2 年） 外城田地域



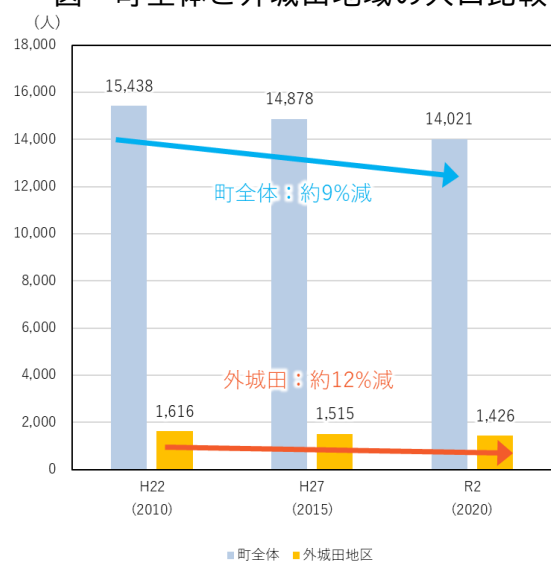
資料：国勢調査

図 年齢 3 区分別人口推移 外城田地域



※年齢不詳は除く

図 町全体と外城田地域の人口比較

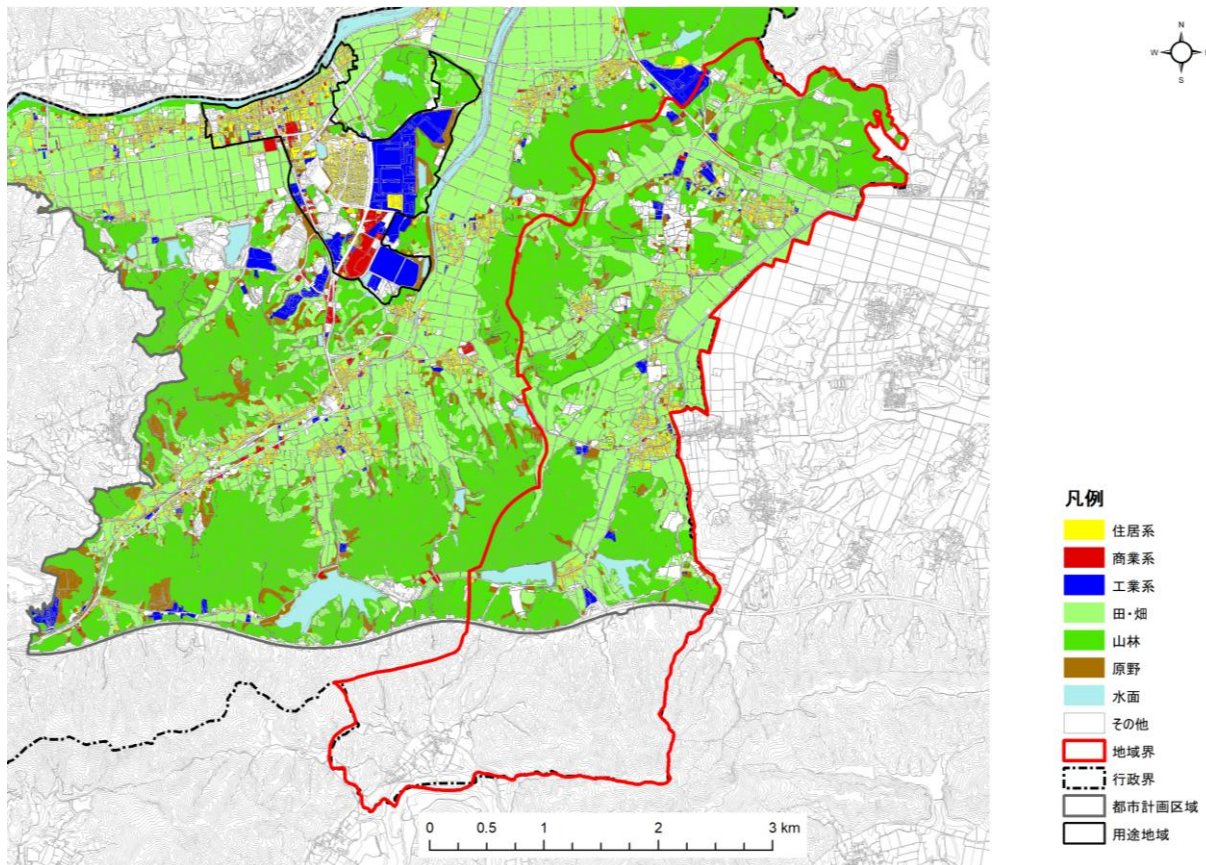


資料：国勢調査

②土地利用現況

- ・都市計画区域内の70%以上が、田・畑、山林・原野となっており、宅地は5%未満となっています。

図 土地利用現況（令和7年） 外城田地域



資料：都市計画基礎調査(令和7年)

表 土地利用現況

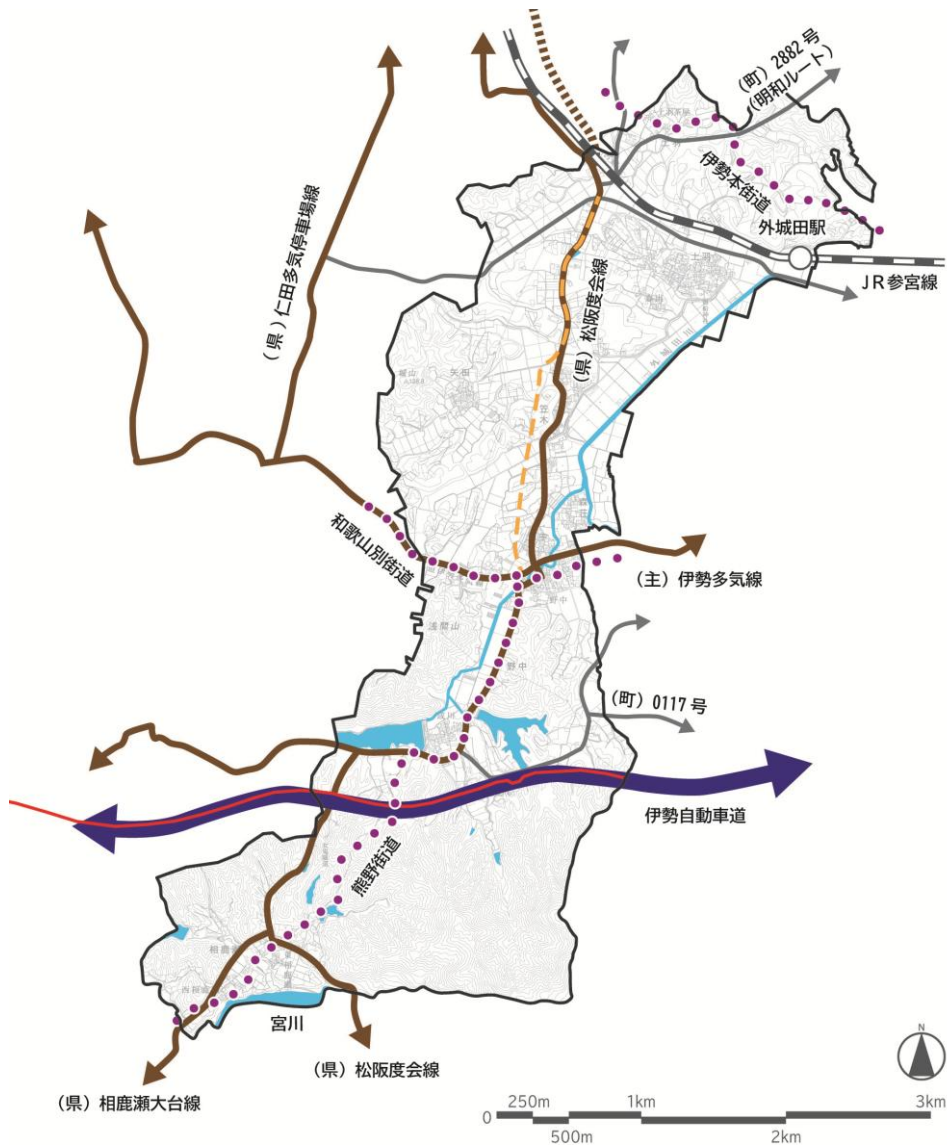
種別	都市計画区域		内用途地域		
	面積 (ha)	割合	面積 (ha)	割合	
宅地	住居系	30.14	3.3%	—	—
	商業系	1.46	0.2%	—	—
	工業系	11.61	1.3%	—	—
	小計	43.21	4.7%	—	—
非宅地	田・畑	319.39	34.9%	—	—
	山林・原野	393.04	42.9%	—	—
	その他	159.56	17.4%	—	—
	小計	871.98	95.3%	—	—
合計	915.19	100.0%	—	—	
地域面積	1,290.54ha				

資料：都市計画基礎調査(令和7年)

③交通

- ・地域の北部にJR参宮線が走り、外城田駅があります。
- ・(県)松阪度会線が地域の南北軸となっています。
- ・(主)伊勢多気線は地域の東西軸となっています。
- ・(県)松阪度会線は移設整備が計画されています。
- ・地域南部に熊野街道が通っています。

図 道路 外城田地域



凡例

- 都市計画区域
- 主要な河川

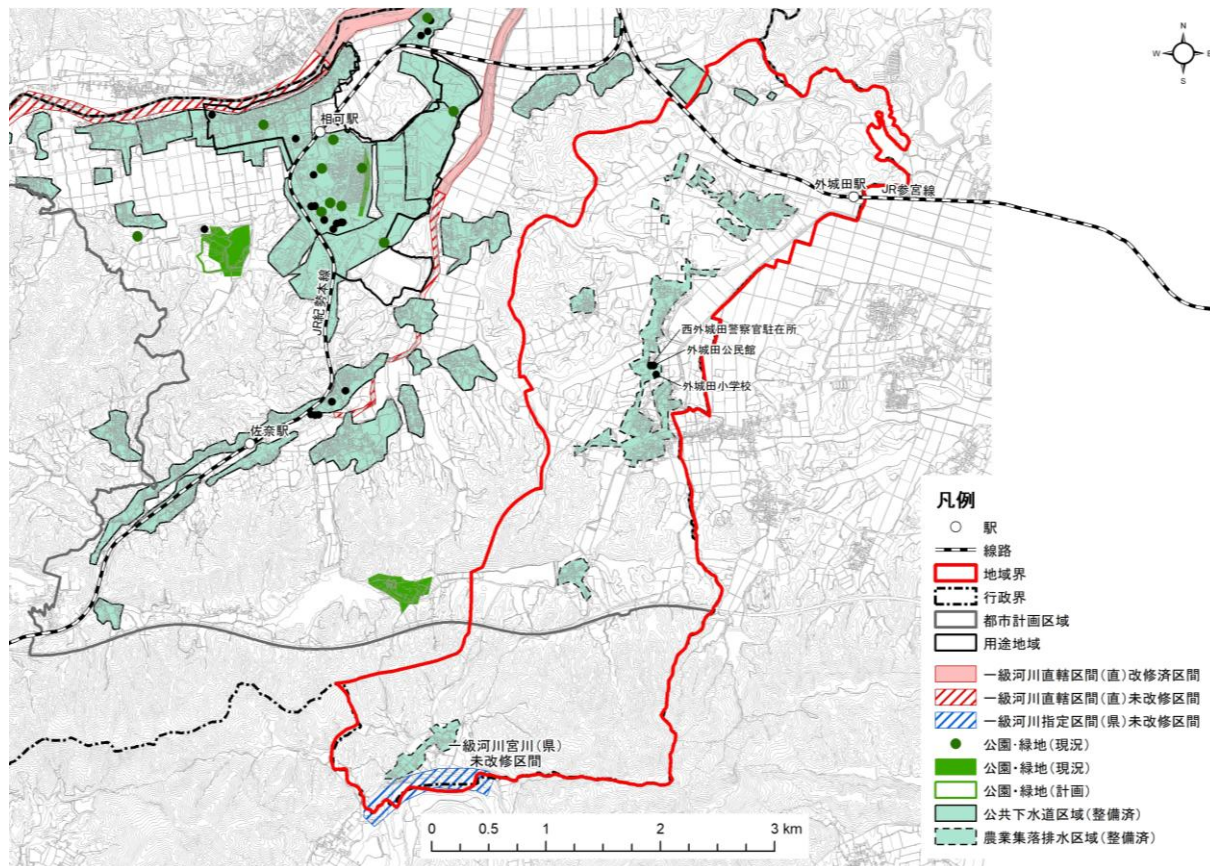
交通

- 高速道路 (完成概成)
- 幹線道路 県道 (完成概成)
- 幹線道路 県道 (事業中)
- 幹線道路 県道 (構想路線)
- 町道
- 街道
- 鉄道

④主要施設

- ・一級河川宮川の未改修区間があります。
- ・農業集落排水が整備済です。

図 主要施設の現況と計画 外城田地域

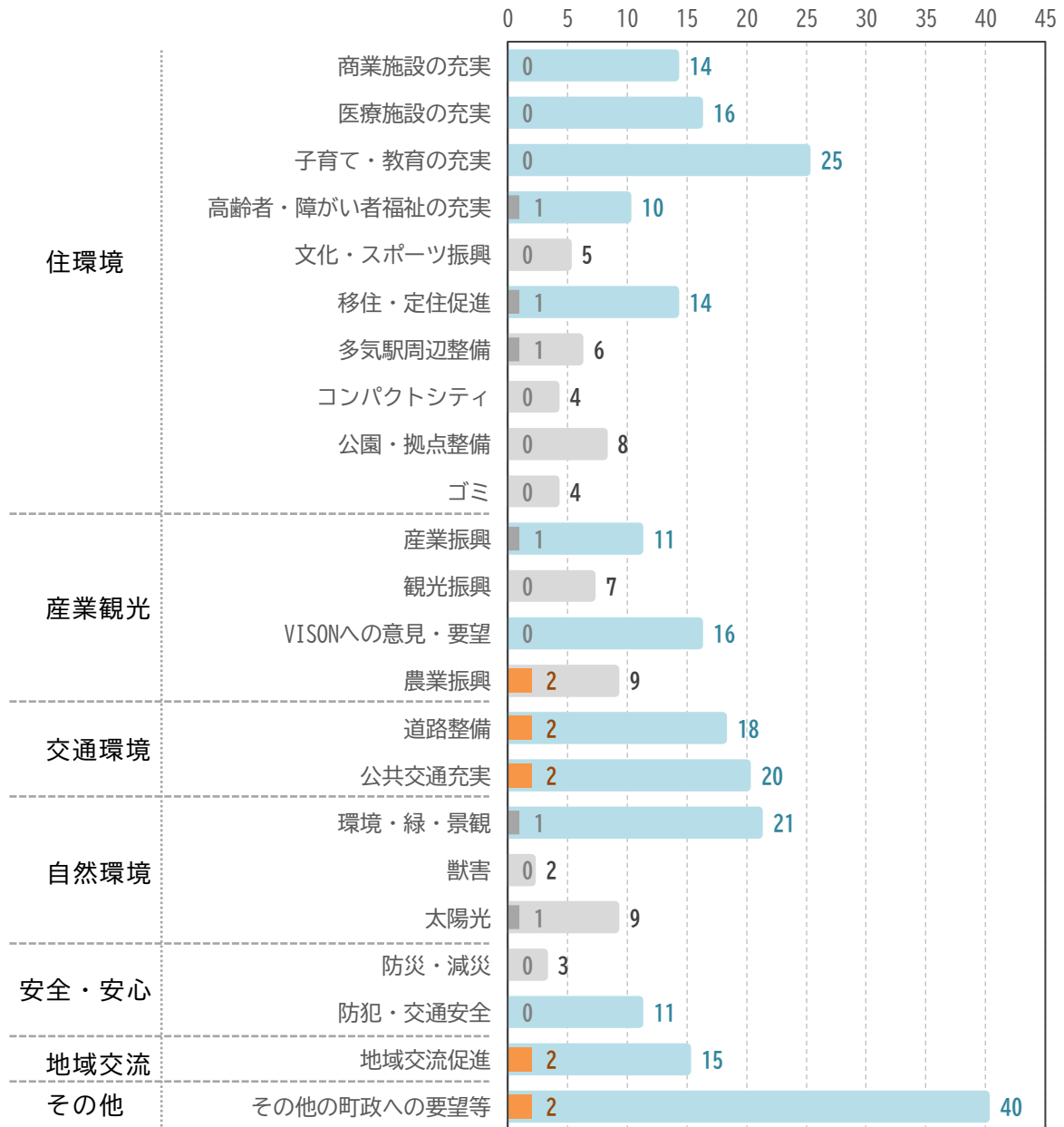


(2) 住民意向

①住民アンケートより

- ・町民アンケートにおける自由意見では、農業振興、道路整備、公共交通充実、地域交流促進などの意見が多くみられました。

表 町民アンケート調査の自由意見



■町全体の意見 ■町全体の意見(多い) ■外城田地域の意見 ■外城田地域の意見(多い)

※外城田地域は2以上、町全体は10以上の回答が多い意見と判断し着色している

②地域別意見交換会での主な意見（令和8（2026）年2月9日開催）

	これからのまちづくりに必要だと思うこと	地域で解決したいこと
①住環境	<p><住宅></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築にかかる支援の検討 ・高齢者福祉施設の受入れ体制の確保 ・空き家の利活用（空き家バンク） <p><土地利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居地域、産業地域の区域適正化 ・買い物や医療施設の誘致、アクセス改善 ・美化センターの整備 <p><人口></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標人口の設定と取組みの実施 ・関係人口（観光以上 移住未満）の創出 <p><子育て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援事業の充実 	<p><住宅></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家、荒れ地の対策 <p><交流></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の受入れ体制の構築 ・拠点における居場所づくり（公民館、学校・保育所跡） ・拠点での地域活動の充実 <p><治安></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置 ・獣害対策
②産業観光	<p><商業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業、アウトレットの誘致（外城田外） ・特産品のPR <p><農林業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品（柿）の生産技術の継承 ・農地法人や営農組合の設置 	<p><商業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品の販売方法の見直し（柿、みかん） <p><農林業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地、農業インフラの維持 ・兼業農家の支援
③交通環境	<p><道路></p> <ul style="list-style-type: none"> ・松阪度会線の整備 <p><公共交通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多気駅の活用 ・自動運転車両の実証運行 ・ライドシェアの推進 	<p><道路></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の見直し（多気中学校）
④公園緑地 ・自然環境	<p><公園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる公園の整備 	<p><自然環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業廃棄物の適正な処理
⑤防災	<p><インフラ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路拡幅 ・VISONの防災拠点としての活用（接続する緊急輸送道路の整備等） 	<p><地域防災></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施 ・防災意識の向上

(3) 施策の実施状況

- ・第2次都市計画マスタープランの検証を踏まえ、外城田地域に係る施策の実施状況は以下の通りです。

第2次計画で位置づけた取組	実施状況	
空き家の、町外からの移住先や店舗・事務所等としての活用推進	継続	空き家バンクの継続
栃ヶ池周辺の風致の維持	継続	風致地区等の継続
県道松阪度会線整備	要望中	歩道整備（相鹿瀬）、事業化（土羽～野中間）、その他区間引き続き県へ要望中
公民館の多世代交流の拠点としての活用	実施中	町、地域住民、団体等により活用
熊野街道（女鬼峠）などにおける散策路・周辺景観整備	実施中	地元ガイドによる案内を実施中
	未実施	散策路整備は未実施

(4) 地域の主な課題

- ・本計画の全体構想での課題・方針、住民意向などを踏まえ、以下のように課題を設定しました。

項目	主な課題
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・田園・山間集落地における住環境の向上、空き家対策 ・地域住民の生活を支える小店舗などの誘導 ・地域コミュニティの維持・促進
産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ・熊野街道、伊勢本街道などの歴史資源の活用
交通環境	<ul style="list-style-type: none"> ・（県）松阪度会線整備、集落地内の生活道路の整備、交通安全対策 ・バス・エリアタクシーなどによる公共交通の充実
公園緑地 自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・栃ヶ池周辺、森林などの良好な環境の保全 ・外城田川の環境・景観・治水に配慮した河川整備 ・優良農地、集落環境などの田園景観の維持・保全
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・河川洪水、ため池崩壊、土砂災害などに対する、自助、共助による地域の防災活動の推進 ・農業集落排水を公共下水道へ統合することによる、生活排水処理の効率化

(5) テーマ・目標

<外城田地域のまちづくりのテーマ>

道路ネットワーク強化による快適な生活環境と地域資源の活用による
魅力をそなえたまち

<外城田地域のまちづくりの目標>

- 県道松阪度会線の整備促進、地域コミュニティ維持・促進などによる、快適な生活環境の確保
- 熊野街道、伊勢本街道などの地域資源の保全、活用、PR

(6) まちづくりの整備方針

① 住環境

- ・ 田園・山間集落地において、経営支援や担い手育成などを通じた優良農地や森林の保全、及び既存集落の住環境の向上を図ります。
- ・ 人口維持、不良な空き家の発生抑制等のための空き家対策を推進します。
- ・ 幹線道路沿道などへの、地域住民の生活を支える小店舗などを誘導します。
- ・ 外城田公民館周辺は地域のコミュニティ拠点として、高齢者交流、子育て支援等の機能の充実を図ります。
- ・ 統廃合後の小学校跡地について、公共施設としての利活用のほか、官民連携により、生活サービス、地域交流、観光振興などへの活用を進めます。
- ・ SNS などを活用した、新たな地域コミュニティづくりや観光振興などの取組を促進します。

② 産業観光

- ・ 熊野街道、伊勢本街道などの歴史資源を活用した散策路や周辺景観を整備します。

③ 交通環境

- ・ 地域の主要道路としての、(県)松阪度会線の事業化区間の早期整備を関係機関に要望します。
- ・ 田園・山間集落地等における生活道路の整備を推進します。
- ・ 通学路の整備や防犯灯の設置など、交通事故対策の強化等による地域の安全性の確保を図ります。
- ・ 主要施設から各施設を結ぶバス・エリアタクシーなどの地域公共交通の充実を図ります。

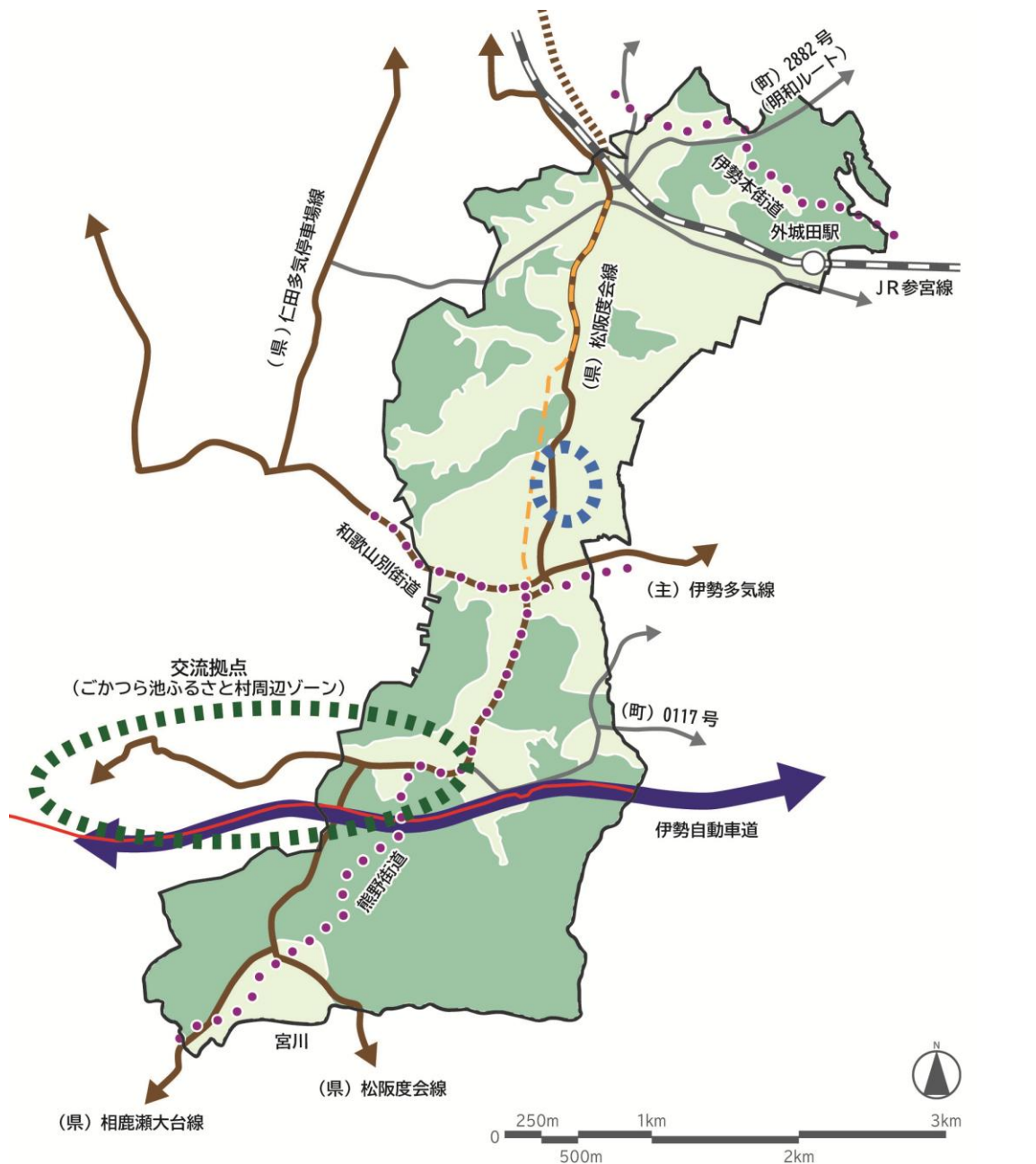
④ 公園緑地・自然環境

- ・ 特定用途誘導地域や風致地区の継続による栃ヶ池周辺の良い環境を保全します。
- ・ 外城田川などの環境・景観・治水に配慮した河川の維持管理や整備を推進します。
- ・ 「多気町太陽光発電施設の設置及び管理に関するガイドライン」、まちづくり条例検討などによる優良農地、集落環境などの田園景観の維持・保全を図ります。
- ・ 農業集落排水施設を統廃合し、公共下水道への接続を推進していきます。

⑤防災

・地域における、避難場所の周知や避難ルートの確認など、防災活動を推進します。

図 外城田地域の将来構想図



凡例

- | | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> — 地域界 — 都市計画区域 — 主要な河川・ため池 | <p><軸></p> <ul style="list-style-type: none"> ↔ 広域連携軸 ↔ 幹線道路軸 — 幹線道路軸 (事業中) — 幹線道路軸 (構想路線) ↔ 町道 ●●● 街道 —○— 鉄道 | <p><土地利用></p> <ul style="list-style-type: none"> 田園集落地ゾーン 山林ゾーン |
| <p><拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> ●●● コミュニティ拠点 ●●● 交流拠点 | | |

2-5 勢和地域

(1) 地域概要

表 地域概要

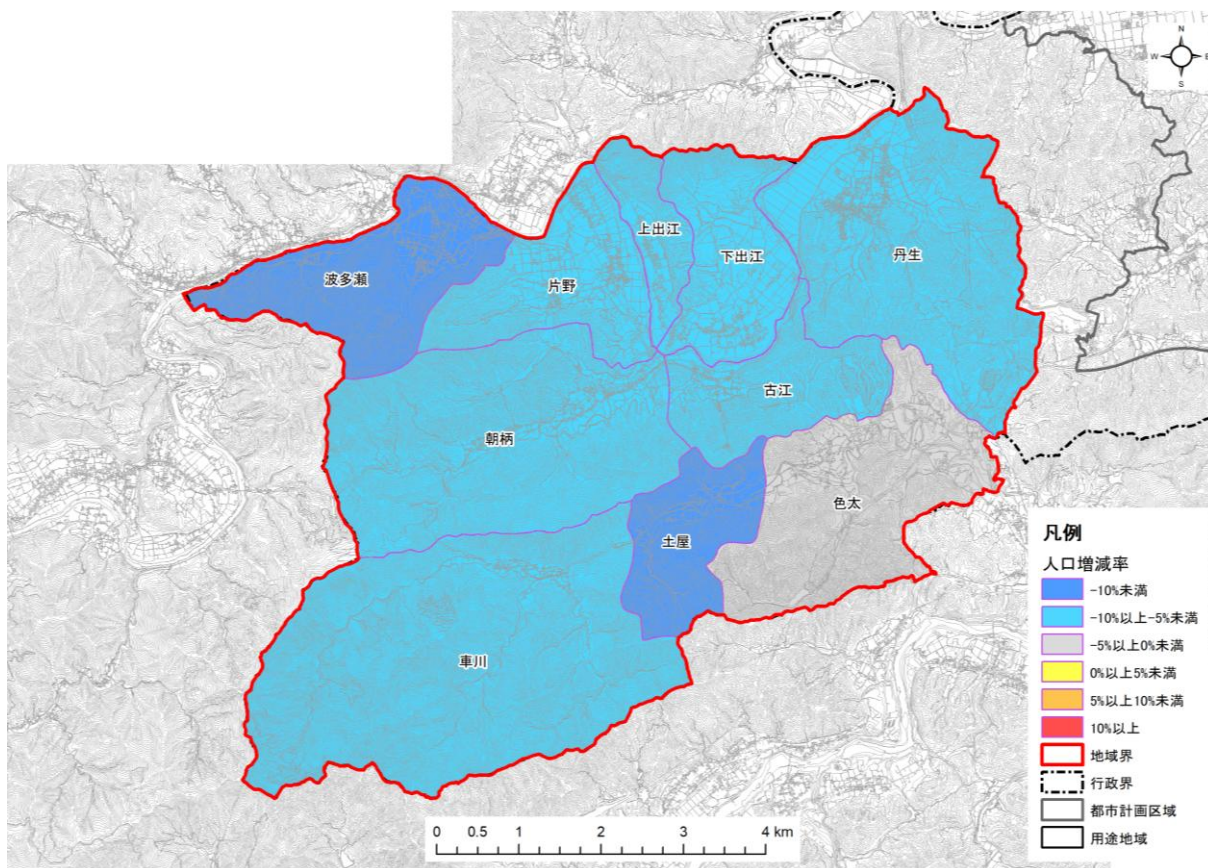
現況特性				
区域区分	面積	R2人口	R2世帯	世帯人員
全域	5,351ha	4,352人	1,526戸	2.9人/戸
都市計画区域	—	—	—	—
都市計画区域外	5,351ha	4,352人	1,526戸	2.9人/戸

<ul style="list-style-type: none"> ・勢和地域は町西部の櫛田川、濁川流域に形成された田園集落地区となっています。 ・国道368号、地域の東西方向の交通軸となっています。 ・地域内は全域都市計画区域外となっています。 	<p>■位置図</p>
---	-------------

①人口動向

- ・平成 27 (2015) 年～令和 2 (2020) 年の間に全地区人口は減少していますが、土屋地区、波多瀬地区は 10%以上減少しており、人口減少が顕著となっています。
- ・地域内の人口は、平成 22 (2010) 年～令和 2 (2020) 年の間に約 11%減少しており、町全体の減少率 (9%) より高くなっています。
- ・平成 22 (2010) 年～令和 2 (2020) 年の間に高齢化率は約 7%増加しています。

図 人口動向 (平成 27 年～令和 2 年) 勢和地域



資料：国勢調査

図 年齢 3 区分別人口推移 勢和地域

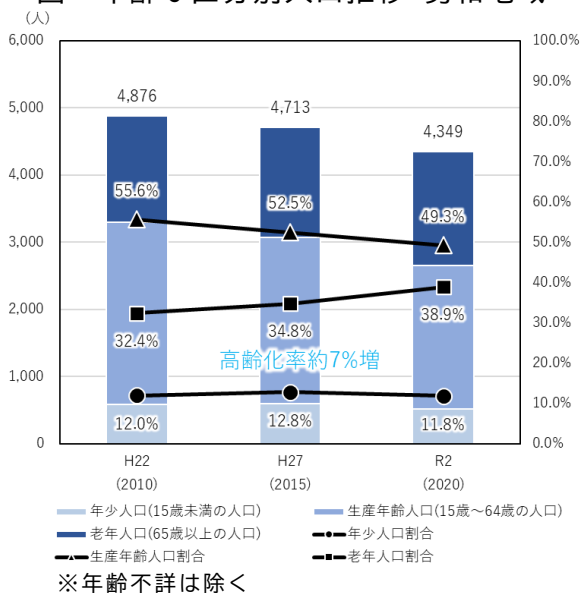
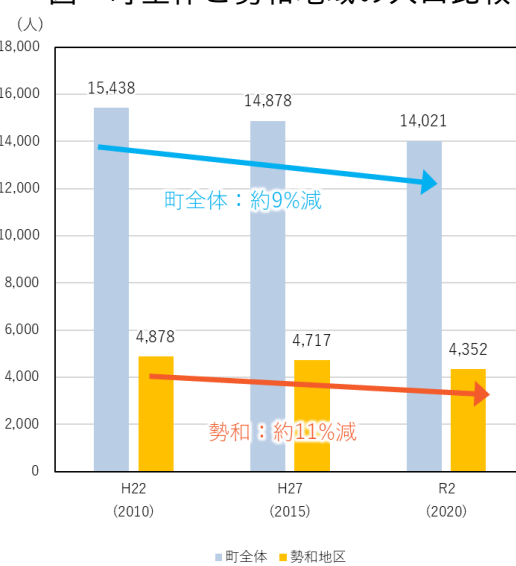


図 町全体と勢和地域の人口比較

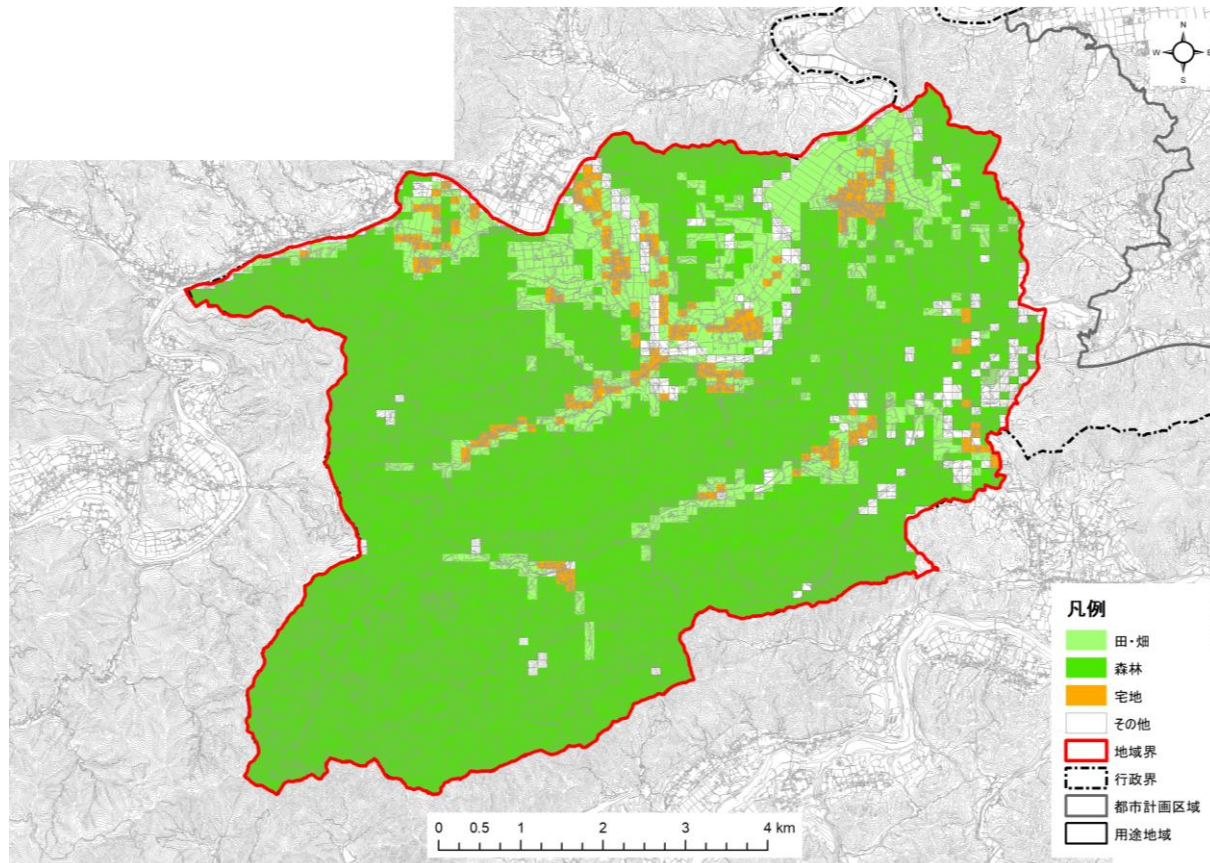


資料：国勢調査

②土地利用現況

- ・国道 368 号沿道、櫛田川付近に、田園集落地区が形成されていますが、地域の大半が森林となっています。

図 土地利用現況（令和 7 年） 勢和地域

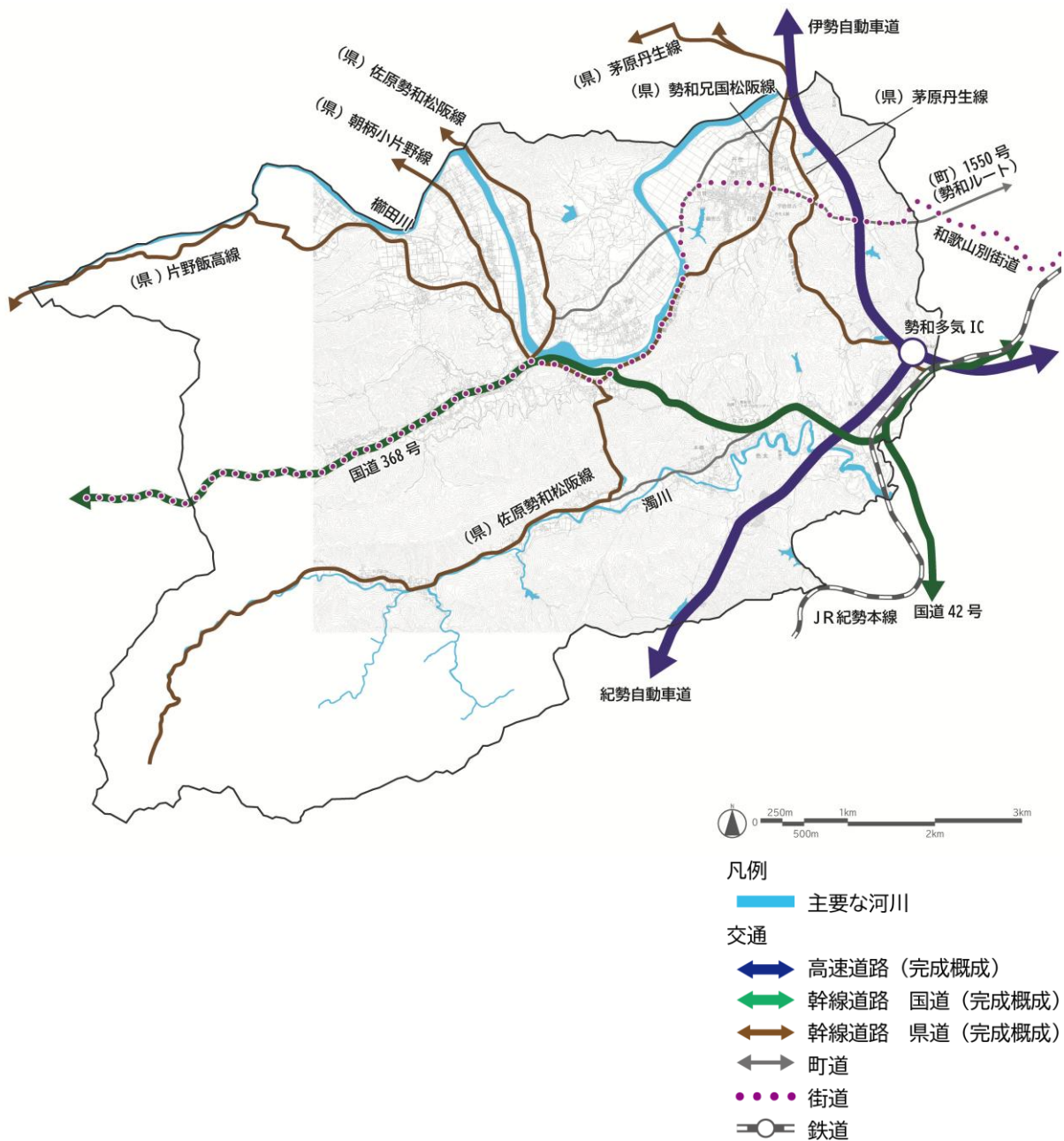


資料：国土数値情報

③交通

- ・ 鉄道駅は J R 紀勢本線の柝原駅が隣接の大台町にあります。
- ・ 国道 368 号、(県)勢和兄国松阪線、(県)片野飯高線、(県)佐原勢和松阪線が地区の東西軸となっています。
- ・ (県)茅原丹生線、(県)佐原勢和松阪線、(県)古江小片野線は地区の南北軸となっています。
- ・ 国道 368 号は整備済です。(県)勢和兄国松阪線は拡幅整備を関係機関に要望します。
- ・ 地区中央を東西に和歌山別街道が通っています。

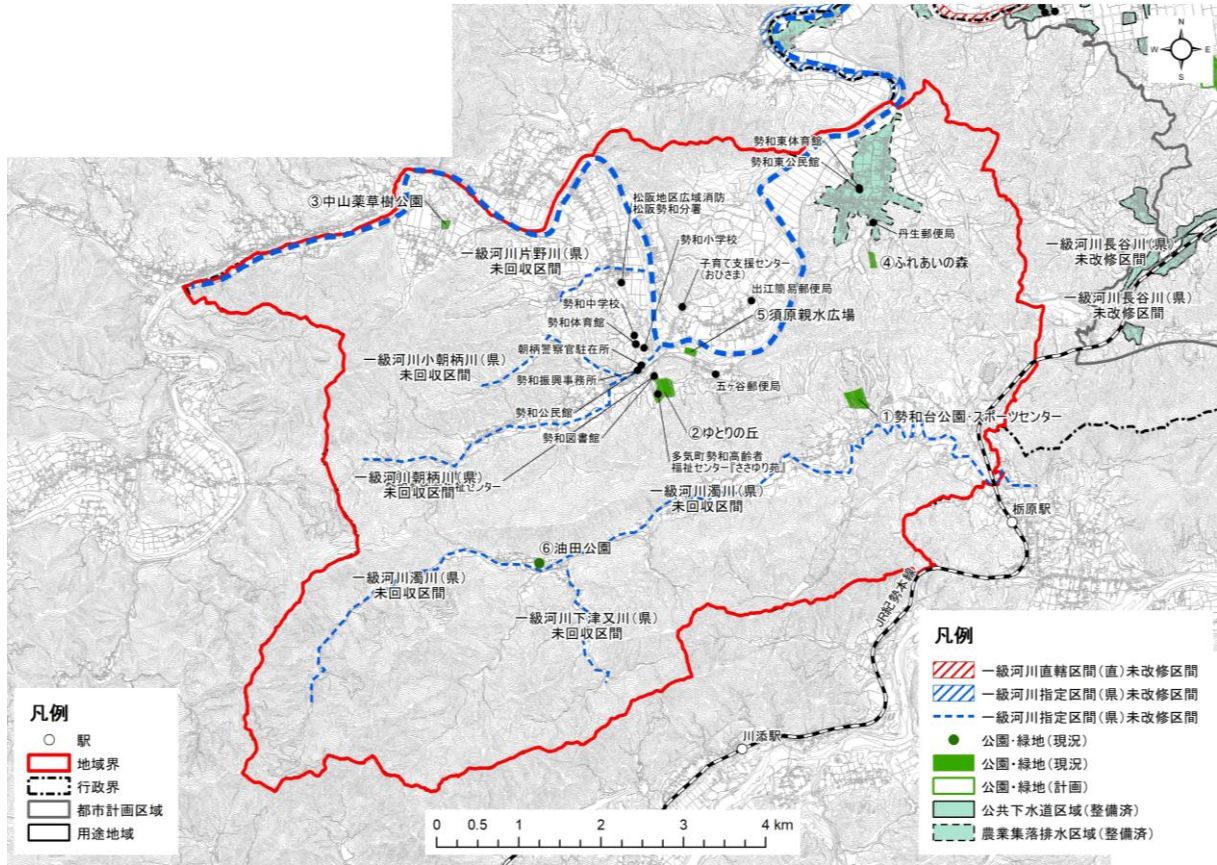
図 道路 勢和地域



④主要施設

- ・河川については未改修区間が多く残っています。
- ・生活排水処理施設は、丹生地区において、農業集落排水事業により整備済です。その他の地区は、合併処理浄化槽により整備を進める計画となっています。

図 主要施設 勢和地域

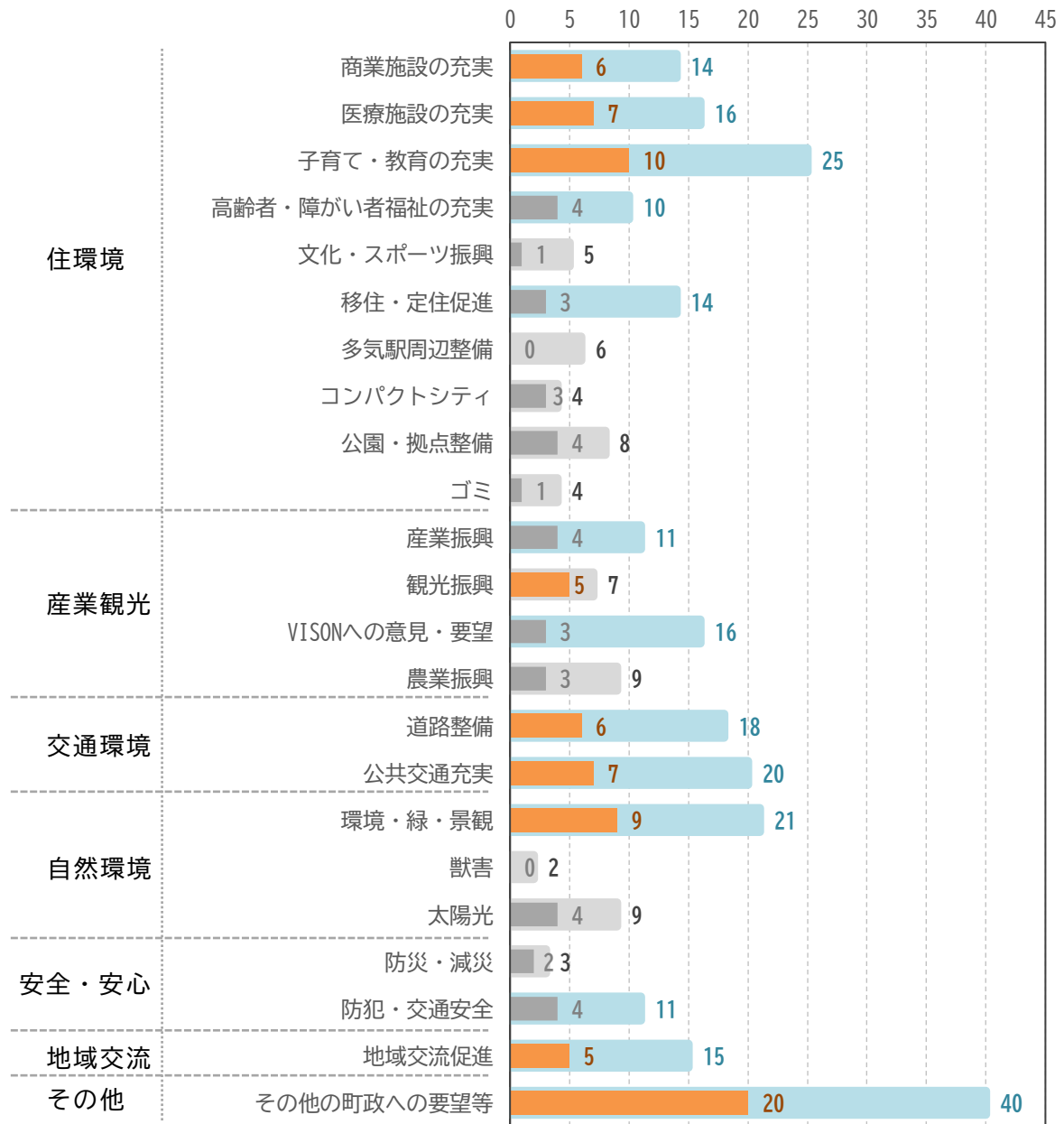


(2) 住民意見

①住民アンケートより

- ・町民アンケートにおける自由意見では、商業施設の充実、医療施設の充実、子育て・教育の充実、観光振興、道路整備、公共交通充実、環境・緑・景観、地域交流促進などの意見が多くみられました。

表 町民アンケート調査の自由意見



■町全体の意見 ■町全体の意見(多い) ■勢和地域の意見 ■勢和地域の意見(多い)

※勢和地域は5以上、町全体は10以上の回答が多い意見と判断し着色している

②地域別意見交換会での主な意見（令和8（2026）年1月29日開催）

項目	これからのまちづくりに必要だと思うこと	地域で解決したいこと
①住環境	<住宅> ・空き家の老朽化対策、活用 <インフラ> ・下水道整備 <人口> ・移住支援の充実 ・対面での高齢者訪問の実施 <交流> ・住民の交流機会の創出、行事支援 ・地域コミュニティ定着による定住意向の醸成、促進	<住宅> ・空き家の老朽化対策、活用 <人口> ・農村環境を愛する移住者の呼び込み <治安> ・防犯カメラの設置
②産業観光	<農林業> ・住民同士の情報交換の機会創出 ・担い手の育成、継承、資機材の支援	<農林業> ・農地バンクの活用 <観光> ・VISON を中心とした集客範囲の拡大の促進
③交通環境	<道路> ・法面の改修、整備（車川地区） ・役場へのアクセス道路の整備 ・狭隘道路の拡幅（自動運転車両の導入も考慮） <公共交通> ・高齢者、学生の移動手手段の確保 ・町営バス、タクシーの充実 ・町営バス（三養地区）、スクールバス（相可高校）のルート見直し	
④公園緑地 ・自然環境	<公園> ・子どもが自然に触れあう公園の整備	<公園> ・山林活用 ・油田公園の活用 <自然環境> ・農地、山林の適正な維持管理 ・草刈り隊の結成 ・獣害対策の実施 ・ソーラーパネル設置への対策
⑤防災	<インフラ> ・安全な避難路の確保	<インフラ> ・老朽化した橋梁のメンテナンス（櫛田川） <地域防災> ・迅速な救助救援体制の確保 ・孤立への対策

(3) 施策の実施状況

- ・第2次都市計画マスタープランの検証を踏まえ、勢和地域に係る施策の実施状況は以下の通りです。

第2次計画で位置づけた取組	実施状況	
生活拠点における機能充実	実施済	勢和振興事務所・勢和公民館のリニューアル
幹線道路沿道の店舗などの誘導	未実施	未実施
幹線道路整備	要望中	県要望中
公園緑地の運営・維持管理	実施中	ゆとりの丘、勢和台スポーツ公園、元丈の里、油田公園などで実施中
公民館の多世代交流の拠点としての活用	実施中	町、地域住民、団体等により活用
丹生大師、水銀鉱、立梅用水、和歌山別街道などにおける散策路・周辺景観整備	実施中	地元ガイドによる案内を実施中
	未実施	散策路整備は未実施

(4) 地域の主な課題

- ・本計画の全体構想での課題・方針、住民意向などを踏まえ、以下のように課題を設定しました。

項目	主な課題
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・田園・山間集落地における住環境の向上、空き家対策 ・勢和振興事務所周辺の都市機能（行政、教育など）の維持・充実 ・地域住民の生活を支える小店舗、医療施設などの誘導 ・地域コミュニティの維持・促進
産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の活性化に向けた就労の場づくり ・ゆとりの丘、勢和台スポーツ公園、元丈の里、油田公園などの充実・活用促進 ・丹生大師周辺、和歌山別街道、立梅用水などの歴史資源の活用
交通環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内外を結ぶ県道の整備、住宅地内の生活道路の整備、交通安全対策 ・バス・エリアタクシーなどによる公共交通の充実
公園緑地 自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・森林などの良好な環境の保全 ・櫛田川・濁川の環境・景観・治水に配慮した河川整備 ・優良農地、集落環境などの田園景観の維持・保全
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・河川洪水、ため池崩壊、土砂災害などに対する、自助、共助による地域の防災活動の推進

(5) テーマ・目標

<勢和地域のまちづくりのテーマ>

歴史・文化・自然資源の活用による、地域内外の人々の交流を育むまち

<勢和地域のまちづくりの目標>

- 勢和振興事務所などを中心とした生活拠点における、都市機能の維持・充実
- 地域内外を結ぶ県道整備促進、地域コミュニティ維持・促進などによる、快適な生活環境の確保
- 丹生地区や櫛田川などにおける歴史・文化・自然資源の活用

(6) まちづくりの整備方針

① 住環境

- ・ 田園・山間集落地において、経営支援や担い手育成などを通じた優良農地や森林の保全、及び既存集落の住環境の向上を図ります。
- ・ 人口維持、不良な空き家の発生抑制等のための空き家対策を推進します。
- ・ 勢和振興事務所・勢和公民館・勢和図書館・ゆとりの丘周辺等の生活拠点、丹生地区のコミュニティ拠点などで高齢者交流、子育て支援等の機能を充実します。
- ・ 幹線道路沿道などへ地域住民の生活を支える小店舗・医療施設などを誘導します。
- ・ 勢和東公民館周辺は地域のコミュニティ拠点として、高齢者交流、子育て支援等の機能の充実を図ります。
- ・ SNS などを活用した、新たな地域コミュニティづくりや観光振興などの取組を促進します。

② 産業観光

- ・ 地域産業の活性化のため、若年層流入のための就労の場づくりを推進します。
- ・ 丹生大師周辺の歴史資源を活かした交流拠点の整備、活用を図ります。
- ・ 元丈の里周辺、油田公園周辺は交流拠点の維持、活用を図ります。
- ・ ゆとりの丘にある篠山城跡を観光資源として整備します。
- ・ 櫛田川を観光交流の場として活用（川下り、自然体験等）を図ります。
- ・ 国道 368 号の観光活用（花街道としての環境整備、川の駅整備等）を図ります。
- ・ 和歌山別街道、立梅用水などの歴史資源を活用した散策路や周辺景観を整備します。
- ・ 官民連携による、ゆとりの丘、勢和台スポーツ公園、元丈の里、油田公園などの充実や活用促進を図ります。

③ 交通環境

- ・ 多気地域と連絡する県道勢和兄国松阪線整備を関係機関に要望します。
- ・ 地域南部の主要幹線である県道佐原勢和松阪線整備（勢和大橋架け替え含む）を関係機関に要望します。
- ・ 田園・山間集落地等における生活道路の整備を推進します。
- ・ 通学路の整備や防犯灯の設置など、交通事故対策の強化等による地域の安全性の確保を図ります。
- ・ 主要施設から各施設を結ぶバス・エリアタクシーなどの地域公共交通の充実を図ります。

④公園緑地・自然環境

- ・森林法などにより良好な自然環境の保全を図ります。
- ・櫛田川、濁川の環境・景観・治水に配慮した河川の維持管理や整備を要望します。
- ・「多気町太陽光発電施設の設置及び管理に関するガイドライン」、まちづくり条例検討などによる優良農地、集落環境などの田園景観の維持・保全を図ります。

⑤防災

- ・地域における、避難場所の周知や避難ルートの確認など、防災活動を推進します。

図 勢和地域の将来構想図

